

LP®840/LP®850 INSTALLATION & INTEGRATION PROJECTOR.

USER'S GUIDE



InFocus®



WARNING: This product contains chemicals, including lead, known to the State of California to cause birth defects or other reproductive harm. ***Wash hands after handling.***

WARNING: This product contains a lamp which contains mercury. Dispose of it as required by local ordinances and regulations.

Agency Approvals

UL, CUL, TUV, GOST

Other specific Country Approvals may apply, please see product certification label.

適合性の宣言

製造元: InFocus Corporation, 27700B SW Parkway Ave. Wilsonville, Oregon 97070 USA

ヨーロッパ支社: Strawinskylaan 585, 1077 XX Amsterdam, The Netherlands

InFocus では、このプロジェクトが次の条項および基準に適合していることを保証します。

EMC Directive 89/336/EEC, Amended by 93/68/EEC

EMC:EN 55022

EN 55024

EN 61000-3-2

EN 61000-3-3

低電圧条項 73/23/EEC, Amended by 93/68/EEC

安全性: EN 60950: 2000

2003 年 8 月

商標

Apple, Macintosh, PowerBook は、Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。IBM は、International Business Machines, Inc. の商標または登録商標です。Microsoft, PowerPoint, Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。InFocus, ProjectorManager、ProjectorNet、LP は、InFocus Corporation の商標および登録商標です。

FCC 警告

この機器は、FCC 規則の 15 条に準拠したクラス A デジタルデバイスの制限に適合していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、機器を商業環境で操作した場合に、害のある干渉に対する妥当な保護が提供されるようにデザインされています。この機器は、ラジオ周波数エネルギーを生成、使用、および放射します。マニュアルの指示通りに設置し、使用しなかった場合は、ラジオ通信に害を及ぼす干渉が発生する場合があります。この機器を住宅地域で操作すると、ユーザーの責任で修正が必要となる害のある干渉を引き起こす可能性があります。

EN 50222 の警告

この製品は、クラス A の製品です。家庭内でご利用の場合、ラジオ周波数への干渉が発生する場合があります。この場合は、適切な処置を取っていただく必要があります。

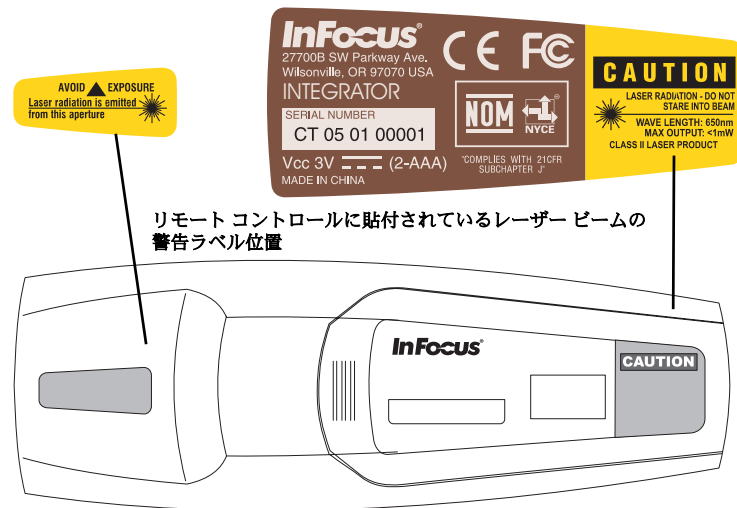
カナダ

このクラス A デジタル機器は、Canadian ICES-003 に準拠しています。
Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

リモートコントロールの警告

レーザー放射クラス II 製品。波長 650nm、最大出力 1mW。リモートコントロールは、21 CFR 1040.10 および 1040.11 の適用可能な条件に適合しています。リモートコントロールは、EN 60 825-1: 1994 +A11 の適用可能な条件に適合しています。

リモートコントロールの前端から放射されるレーザー光線を直視しないでください。



目次

はじめに	6
プロジェクタの配置	8
コンピュータへの接続	9
必要なコンピュータ接続	9
コンピュータ イメージの表示	11
Windows 98 で最初にプロジェクタを使用する場合	12
イメージの調整	14
ビデオ デバイスの接続	15
ビデオ イメージの表示	17
プロジェクタのシャットダウン	19
セットアップのトラブルシューティング	19
キーパッド ボタンの使用	27
リモート コントロールの使い方	28
オーディオの使い方	29
コンピュータ イメージの最適化	30
プレゼンテーション機能	30
ビデオ イメージの最適化	31
プロジェクタのカスタマイズ	31
メニューの使い方	32
[映像] メニュー	33
[設定] メニュー	36
保守	40
レンズのクリーニング	40
レンズの交換	40
投影ランプの交換	41
ほこりフィルタのクリーニング	43
セキュリティロックの使い方	43
付録	44
投影イメージ サイズ	44
LED の動作	47
RS-232 コマンド	48

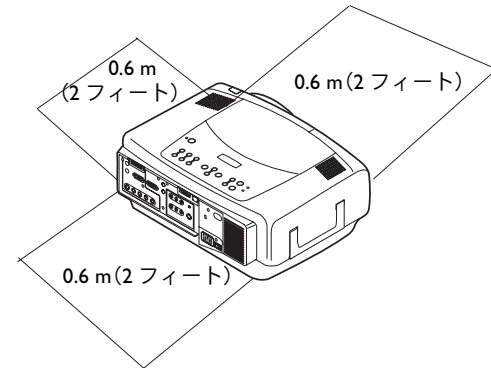
プレゼンテーション システムのセットアップを行ったことがある場合は、付属のクイック セットアップ カードを使用してください。プロジェクタの接続と操作に関する詳しい説明については、このユーザーズ ガイドを参照してください。このユーザーズ ガイドの多言語による電子ファイル バージョンが付属のCDに収録されています。または、InFocus のウェブサイトからダウンロードしていただくこともできます。

InFocus のウェブサイトには、技術仕様（インタラクティブ画像サイズ計算器、ノートブック表示開始コマンド、コネクタ ピンの配列、用語集、製品のデータシードなど）、アクセサリを購入できるウェブストア、オンライン登録ページなどがあります。連絡先および関連ウェブサイトのアドレス一覧については、裏カバーの内側をご覧ください。

操作に関する重要な情報

テーブルクロスや通気口を塞ぐ可能性のある柔らかい布の上にプロジェクタを置かないでください。通気口は、プロジェクタの背面、左側面、前面にあります。認定されていない天井への取り付け方法は使用しないでください。ランプが破損することは稀ですが、万が一破裂した場合を考慮して、プロジェクタの周りに食べ物や飲み物を置かないようにしてください。また、プロジェクタの前面および側面に物を置かないようにしてください。

プロジェクタの左側、前、横のエリアには、物を置かないでください。



はじめに

この新しいマルチメディア プロジェクタは、3つのコンピュータ、3つのビデオ、2つのオーディオ入力、1つのオーディオ出力、RS-232 コントロール、XGA 1024x768 の解像度を提供します。オプションで、ユーザーが交換可能なレンズ（短、固定短、固定長、超長）を使うと、プロジェクタを多くの用途に利用できます。この製品は、接続、使用、および保守が簡単なプロジェクタです。

製品の仕様

マルチメディア プロジェクタの最新仕様については、弊社ウェブサイトを参照してください。ウェブサイトのアドレス情報は、このユーザーズ ガイドの裏カバーの内側に記載されています。

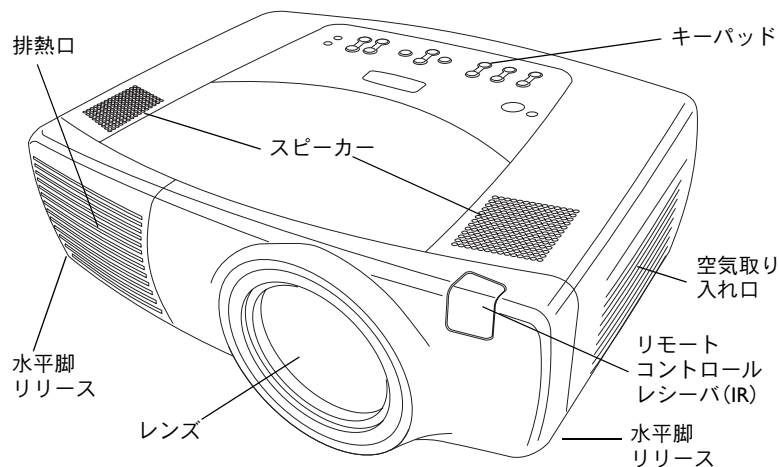
アクセサリ

プロジェクタに付属の標準アクセサリは、同梱されている部品のリストに記載されています。オプションのアクセサリについては、プロジェクタに同梱されているアクセサリのカatalogまたは弊社ウェブサイトをご覧ください。ウェブアドレスは、このガイドの裏カバー内側に記載されています。

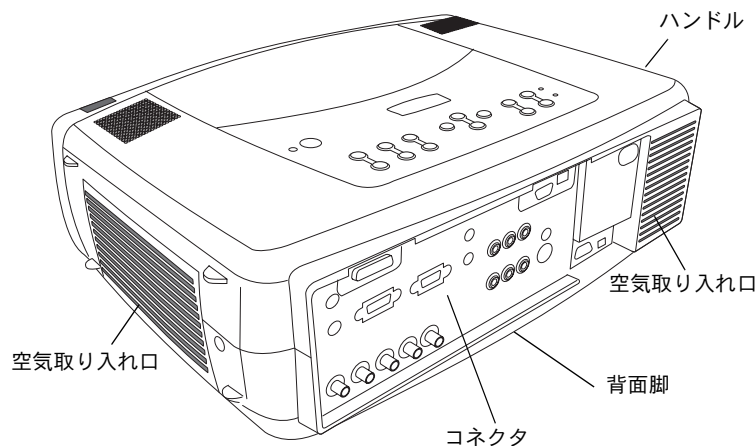
オンライン登録

プロジェクタをオンラインで登録すると、製品のアップデート、通知、登録のお礼を提供させていただきます。ウェブアドレスは、このガイドの裏カバー内側に記載されています。

プロジェクタのコンポーネントと機能：前面



プロジェクタのコンポーネントと機能：背面



コネクタパネル

プロジェクタには、3つのコンピュータと3つのビデオ接続オプションがあります。

- M1-D (USBを持つDVI) (1)
- VESA コンピュータ (1)
- BNC (RGBHV および Pr、Pb、Y) (1)
- コンポーネント RCA (Pr、Pb、Y) (1)
- S-ビデオ 1つ
- コンポジット RCA ビデオ (1)

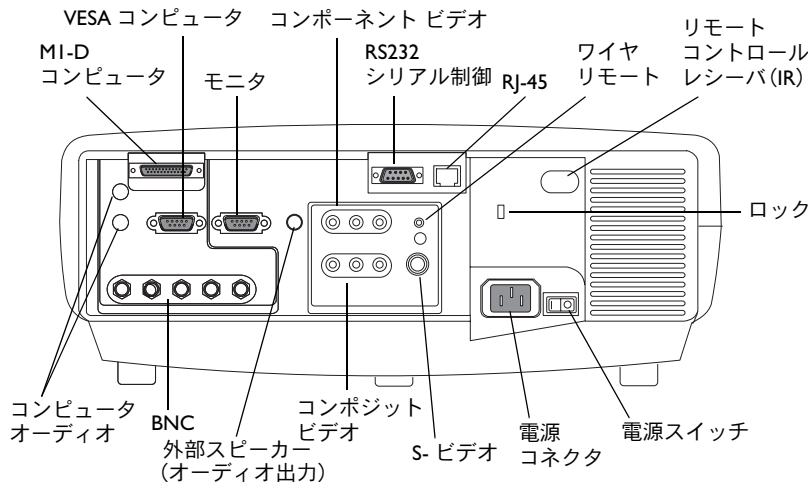
プロジェクタには、オーディオをサポートする次のコンピュータおよびビデオ コネクタが付属しています。

- コンポジット RCA ステレオ オーディオ (L、R) (2)
- オーディオ出力コネクタ (1)
- コンピュータ用のオーディオ入力コネクタ (2)

プロジェクタには、次のコネクタも付属しています。

- ワイヤリモート (1)
- モニタ出力 (1)
- RS-232 シリアル コネクタ (シリアル制御用)
- RJ-45 コネクタ (ProjectorNet ソフトウェアを介したネットワーク接続用)

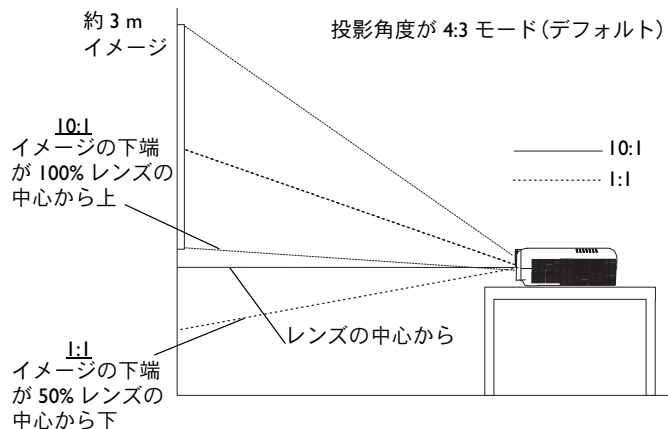
RS-232 コマンドライン インターフェイス (CLI) 仕様およびコマンドは、弊社ウェブサイトに記載されています。ウェブサイトの情報については、このユーザーズ ガイドの裏カバー内側をご覧ください。



プロジェクトの配置

プロジェクトの配置を決めるには、スクリーンのサイズと形状、コンセントの位置、プロジェクトとその他の機器との距離を考慮してください。次に一般的なガイドラインを示します。

- プロジェクトは、平面な表面にスクリーンに直角になるように置いてください。標準のレンズを取り付けたプロジェクトは、投影するスクリーンから少なくとも 0.9 m (3 フィート) 離してください。
- プロジェクトは、コンセントから 3 m (10 フィート) 以内、ビデオデバイスから 1.8 m (6 フィート) 以内に配置してください (延長ケーブルを使用する場合はこれ以上の距離で配置できます)。ケーブルの接続に十分な空間を確保するため、プロジェクトは壁やその他の物体から 0.15 m (6 インチ) 以上離れた場所に置いてください。
- プロジェクトを天井吊りに設置する場合は、設置方法について天井吊りキットに付属の設置ガイドを参照してください。イメージを上下反対に投影するには、36 ページページの「天井吊り」を参照してください。InFocus では、認定の天井吊り方法を使用することを推奨しています。天井吊りキットは、別途購入していただけます。キットについて詳しくは、このプロジェクトに付属のアクセサリカタログまたは弊社ウェブサイトをご覧ください。
- プロジェクトをスクリーンから適切な距離だけ離れた位置に置きます。プロジェクトのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、ビデオ形式により、投影されるイメージのサイズが決定されます。スクリーンとの距離に対するイメージのサイズについて詳しくは、44 ページの投影イメージサイズを参照してください。
- プロジェクトに付属の標準レンズでは、イメージが特定の角度で出力されます。ただし、レンズのシフト動作のため、イメージのオフセットが変化します。プロジェクトが 4:3 モード (デフォルト) の場合は、イメージのオフセットが 10:0 で 100% になります。これは、約 3 m の高さのイメージがある場合、イメージの 3 m すべてが中央から上に投影されることを意味します。
- このイメージ オフセットは、レンズシフトが 1:1 の場合は 50% になります。これは、約 3 m の高さのイメージがある場合、イメージの下端はレンズの中央から約 1.5 m 下に投影されることを意味します。
- オプションのレンズを使用した場合のイメージ オフセットについては、44 ページの投影イメージサイズを参照してください。



コンピュータへの接続

必要なコンピュータ接続

VESA コンピュータケーブルの一端をプロジェクトの **Computer 2** コネクタに接続します。もう一方の端をコンピュータのビデオ ポートに接続します。デスクトップコンピュータを使用している場合は、まずコンピュータのビデオ ポートからモニターケーブルを取り外してください。

黒い電源ケーブルをプロジェクトの背面に接続してから、プラグをコンセントに差し込みます。

注意: 必ずプロジェクトに付属している電源ケーブルを使用してください。

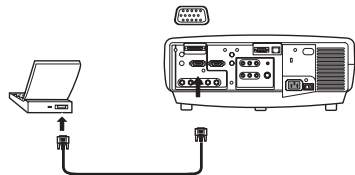
オプションのコンピュータ接続

プロジェクトのリモート コントロールを使ってコンピュータのマウスを制御するには、コンピュータの USB および DVI ポートに USB および DVI ケーブルを接続し、もう一端をプロジェクトの **Computer 1** (M1-D) コネクタに接続します。USB 機能を使用するには、USB ドライバをインストールしなければなりません。詳しくは、13 ページを参照してください。

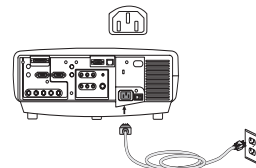
IR の干渉によりプロジェクトがリモートの信号を受信できない場合は、リモートケーブルを介してプロジェクトに直接接続できます。これには、リモート ケーブルをプロジェクトのワイヤ リモート コネクタに差し込みます。もう一端をリモートのコネクタに差し込みます。

プレゼンテーションでサウンドを使用する場合は、オーディオ ケーブルをコンピュータとプロジェクトの該当するコンピュータ **Audio In** コネクタに接続します。

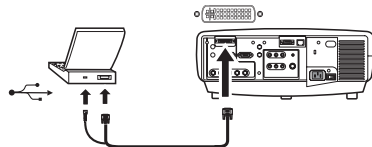
コンピュータ ケーブルを接続



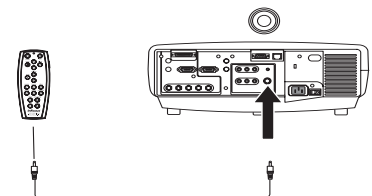
電源コードを接続



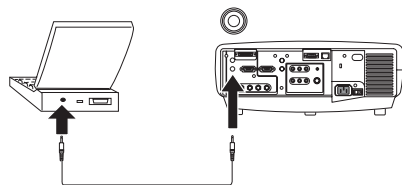
MI-D ケーブルを接続



ワイヤ リモートを接続



オーディオ ケーブルを接続



デスクトップ コンピュータを使用していてプロジェクタ画面とコンピュータの画面の両方にイメージを表示する場合は、モニター ケーブルをプロジェクタの **Monitor out** コネクタに接続します。

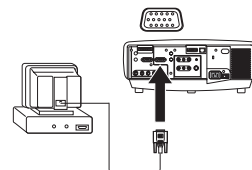
また、BNC ケーブルを使ってコンピュータに接続することもできます。BNC ケーブルのBNCコネクタをプロジェクタの該当する**Computer 3** コネクタに接続します。もう一方の端をコンピュータのビデオ ポートに接続します。デスクトップ コンピュータを使用している場合は、まずコンピュータのビデオ ポートからモニター ケーブルを取り外してください。BNC の 5 つのコネクタすべてを接続したら、プロジェクタが H および V で別々の同期を行います。

RS-232 ケーブルをプロジェクタの **Serial** コネクタに接続して、プロジェクタを LCD コントロール パネル、タッチ スクリーン、その他のコントロール デバイスまたはコンピュータから制御できます。このユーザーズ ガイドの付録およびウェブサイトの「サービスとサポート」には、特定の RS-232 コマンドが記載されています。

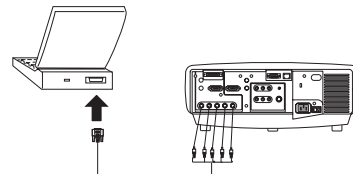
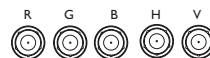
プロジェクタは、**Network** (RJ-45) コネクタを通して ProjectorNet ネットワーキングソフトウェアによって管理できます。ProjectorNet については、認定代理店にお問い合わせになるか、ウェブサイトをご覧ください。



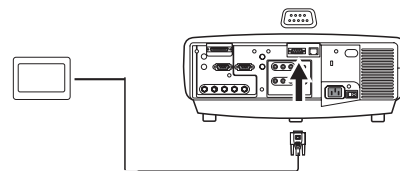
モニター ケーブルを接続



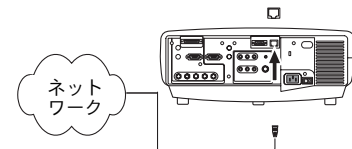
BNC ケーブルを接続



RS-232 ケーブルを接続



CAT 5 ケーブルを接続



コンピュータ イメージの表示

レンズ キャップを取り外します。

プロジェクタの背面にある電源スイッチをオンの位置に押してから、プロジェクタの上部またはリモートで **Power** ボタンを押します。

LED が緑色に点滅し、ファンが回転します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が点滅から点灯に変わります。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。

！ 起動画面が表示されない場合 20 ページを参照してください。

コンピュータの電源を入れます。

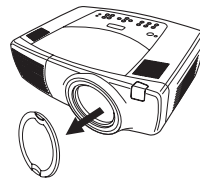
コンピュータのイメージがプロジェクタの画面に表示されるはずですが、画面が表示されない場合は、プロジェクタのキーパッドで **Computer** ボタンを押します。

ノートブック コンピュータの外部ビデオ ポートがアクティブになっていることを確認してください。

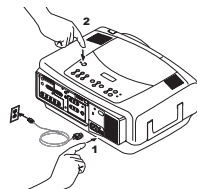
プロジェクタを接続しても、多くのノートブック コンピュータの外部ビデオポートは自動的にアクティブにはなりません。FN + F5 などのキー操作を使って、外部ディスプレイのオンとオフを切り替えます。ノートブック コンピュータ特有のキー操作については、ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

！ コンピュータのイメージが表示されない場合 キーパッドの **Auto Image** ボタンを押してみてください。20 ページを参照してください。

レンズキャップを外す



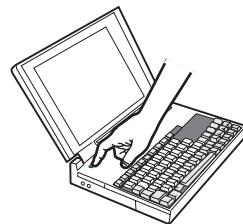
電源スイッチを押す Power ボタンを押す



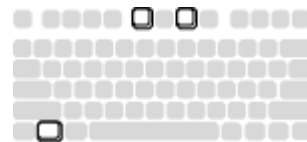
コンピュータの電源をオンにする



computer



ノートブックコンピュータの
外部ポートを有効にする



Windows 98 で最初にプロジェクトを使用する場合

Windows 98 を実行しているコンピュータにプロジェクトを最初に接続すると、コンピュータがプロジェクトを「新しいハードウェア」として認識し、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが表示されます。このウィザードを使って Windows オペレーティング システムにインストールされているドライバから正しいドライバを読み込むには、画面に表示される指示に従います。

Windows 2000、Windows ME、Windows XP を実行している場合は、これらの手順をスキップして 14 ページページの「イメージの調整」に進んでください。

a [次へ] をクリックしてドライバの検索を開始します。

b [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] が選択されていることを確認してください。それから、[次へ] をクリックします。

c チェックボックスの選択をすべて解除して[次へ]をクリックします。Windows が自動的にドライバを見つけます。このドライバが削除されている場合は、Windows のオペレーティング システム CD を使ってドライバを再度読み込んでください。

d Windows がドライバを見つけたら、ドライバをインストールする準備が整います。[次へ] をクリックします。

a



b



c



d



USB マウスケーブルを接続していない場合は、このページの手順をスキップしてください。

Windows 98 の場合：

- USB ケーブルを接続した場合は、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが再度表示されます。USB 機能を使用するには、ドライバをインストールしなければなりません。
- **ウィザードは次のように 2 回起動されます。**

1 回目は USB ヒューマンインターフェイス デバイス (キーボード用) を検出します。

2 回目は USB ヒューマンインターフェイス デバイス (マウス用) を検出します。

Windows 2000、Windows ME、Windows XP の場合：

- USB ドライバは自動的にインストールされます。

イメージの調整

必要に応じて、プロジェクタの前面両側にあるリリースボタンを押して、水平脚を延ばし、プロジェクタの高さを調整します。

プロジェクタをスクリーンに対して 90 度（垂直）の方向でスクリーンから適切な距離を離れた位置に設置します。

スクリーンのサイズと距離のリストには、44 ページを参照してください。

キーパッドの **Zoom** または **Focus** ボタンを押して、イメージのサイズと焦点が正しく表示されるまで、ズームまたは焦点を調整します。

メニューからズームおよび焦点を調整することもできます。33 ページを参照してください。

イメージがスクリーンまたは表示領域から外れている場合は、キーパッドのレンズシフト ボタンを押して調整します。

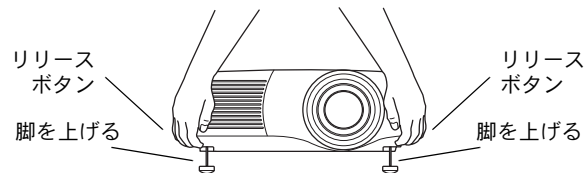
レンズを上方向にシフトするには、上の **Lens Shift** ボタンを押します。レンズを下方向にシフトするには、下の **Lens Shift** ボタンを押します。

メニューからレンズシフトを調整することもできます。詳しくは、33 ページを参照してください。

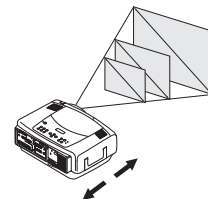
[映像] メニューで [コントラスト] または [明るさ] を調整します。

メニューのヘルプは 32 ページを参照してください。

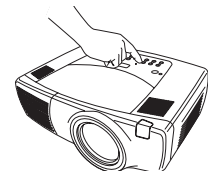
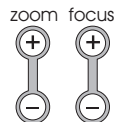
高さの調整



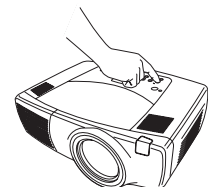
距離の調整



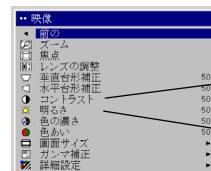
ズームおよび焦点の調整



レンズシフトの調整



コントラストまたは明るさの調整



コントラスト

明るさ

ビデオ デバイスの接続

標準のビデオ接続

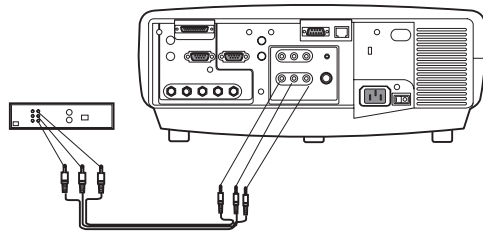
付属のオーディオ / ビデオ ケーブル (A/V) の黄色いコネクタをビデオ デバイスのビデオ出力コネクタに差し込みます。もう一方の黄色いコネクタをプロジェクトの黄色い **Video 3** コネクタに差し込みます。

白いコネクタをビデオ デバイスの左のオーディオ出力コネクタに、赤いコネクタをビデオ デバイスの左のオーディオ出力コネクタに差し込みます。残りの白いコネクタをプロジェクトの左側にある**オーディオ入力** (黄色の **Video 3** コネクタの右側)、赤いコネクタをプロジェクトの右側にある**オーディオ入力コネクタ**に差し込みます。

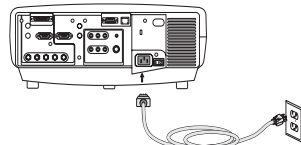
黒い電源ケーブルをプロジェクトの背面に接続してから、プラグをコンセントに差し込みます。

注意: 必ずプロジェクトに付属している電源ケーブルを使用してください。

A/V ケーブル



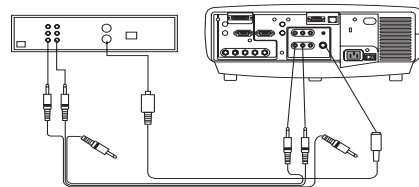
電源コードを接続



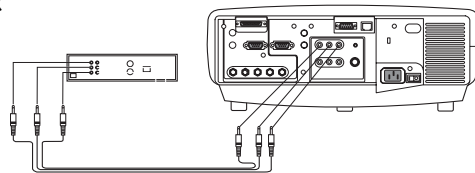
オプションのビデオ接続

ビデオ デバイスが丸い 4 つのピンを持つ S-ビデオ コネクタを使用する場合は、S-ビデオ ケーブル (別売り) をビデオ デバイスの S-ビデオ コネクタとプロジェクトの **Video 2** コネクタに差し込みます。上記のように直接 A/V ケーブルのオーディオ コネクタを使用します (A/V ケーブルの黄色いコネクタは使用しません)。

S-ビデオおよび
ビデオ ケーブルを接続



コンピュータ ケーブルおよび
ビデオ ケーブルを接続



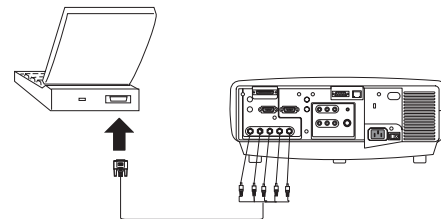
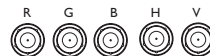
ビデオ デバイスがコンポーネント ケーブル コネクタ (別売り) を使用している場合は、ケーブルの緑のコネクタをビデオ デバイスのコンポーネント出力コネクタに、プロジェクトの緑の **Video 1** コンポーネント コネクタ (「**Y**」のラベル) に差し込みます。コンポーネント ケーブルの青いコネクタをビデオ デバイスのコンポーネント出力コネクタに、プロジェクトの青いコンポーネント コネクタ (「**Pb**」のラベル) に差し込みます。コンポーネント ケーブルの赤いコネクタをビデオ デバイスのコンポーネント出力コネクタに、プロジェクトの赤いコンポーネント コネクタ (「**Pr**」のラベル) に差し込みます。上記のように A/V ケーブルのオーディオ コネクタを使用します (A/V ケーブルの黄色いコネクタは使用しません)。**注意:** このコンポーネント コネクタは、HDTV 信号源 (480i、480p、720p、1080i 形式) で使用できます。

また、BNC ケーブルを使ってビデオ デバイスに接続することもできます。BNC ケーブルの BNC コネクタをプロジェクタの該当する **Computer 3** コネクタに接続します。もう一方の端をビデオ デバイスのビデオ ポートに接続します。前のページで説明されているように、A/V ケーブルのオーディオ コネクタを使用します (A/V ケーブルの黄色いコネクタは使用しません)。

4 つの BNC コネクタが接続されている場合は、プロジェクタが H で合成同期を行います。3 つの BNC コネクタが接続されている場合は、プロジェクタが G で合成同期を行います。

注意：この BNC コネクタは、HDTV 信号源 (480i、480p、720p、1080i 形式) で使用できます。

BNC ケーブルを接続



ビデオ イメージの表示

レンズ キャップを取り外します。

プロジェクタの背面にある電源スイッチをオンの位置に押してから、プロジェクタの上部で **Power** ボタンを押します。

LED が緑色に点滅し、ファンが回転します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が点滅から点灯に変わります。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。

！ 起動画面が表示されない場合 20 ページを参照してください。

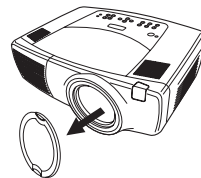
ビデオ デバイスを接続して電源を入れます。

ビデオ デバイスのイメージがプロジェクタの画面に表示されるはずですが、画面が表示されない場合は、キーパッドで **Video** ボタンを押します。

必要に応じて、プロジェクタの前面両側にあるリリースボタンを押して、水平脚を延ばし、プロジェクタの高さを調整します。

プロジェクタをスクリーンに対して 90 度の方向でスクリーンから適切な距離を離れた位置に設置します。スクリーンのサイズと距離のリストには、44 ページを参照してください。

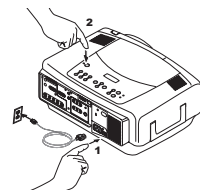
レンズ キャップを外す



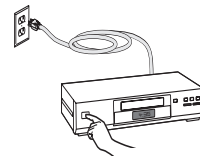
電源スイッチを押す



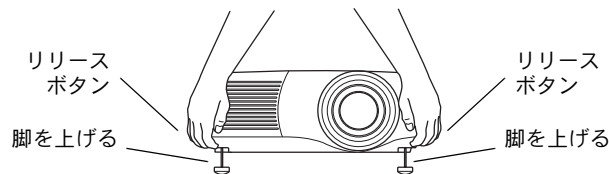
Power ボタンを押す



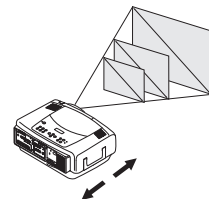
ビデオ デバイスの電源を入れる



高さの調整



距離の調整



キーパッドの **Zoom** または **Focus** ボタンを押して、イメージのサイズと焦点が正しく表示されるまで、ズームまたは焦点を調整します。

メニューからズームおよび焦点を調整することもできます。33 ページを参照してください。

イメージがスクリーンまたは表示領域から外れている場合は、キーパッドのレンズシフト ボタンを押して調整します。

レンズを上方向にシフトするには、上の **Lens Shift** ボタンを押します。レンズを下方向にシフトするには、下の **Lens Shift** ボタンを押します。

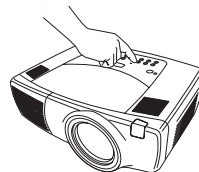
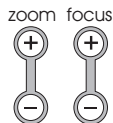
メニューからレンズシフトを調整することもできます。33 ページを参照してください。

キーパッドまたはリモート コントロールで音量を調整します。

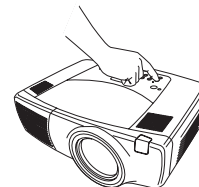
[映像] メニューで [コントラスト]、[明るさ]、[色の濃さ]、[色あい] を調整します。

メニューのヘルプは 32 ページを参照してください。

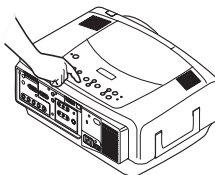
ズームおよび焦点の調整



レンズ シフトの調整



音量の調整



[映像] メニューの調整

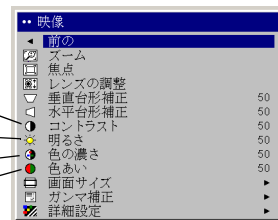


コントラスト

明るさ

色の濃さ

色あい



プロジェクトのシャットダウン

30 分間アクティブなソースが検出されないと、プロジェクトが自動的に空白画面を表示します。この空白画面により、プロジェクトの寿命が延びます。アクティブなソースが検出されるか、リモート コントロールかキーパッドのボタンを押すとイメージが再度表示されます。

スクリーン セーバー

[設定] > [システム] メニューで [スクリーン セーバー] をオンにすると、5 分間で空白画面を表示することができますようになります。37 ページを参照してください。

節電モード

プロジェクトには、信号が 20 分間検出されなかった場合にプロジェクトのランプを自動的にオフにする節電機能も付属しています。さらに 10 分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクトの電源が切れます。プロジェクトの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。30 分経過した後にイメージを表示するには電源ボタンを押してください。節電機能が使用可能になっている場合は、スクリーン セーバーは使用不可になります。37 ページを参照してください。

プロジェクトの電源オフ

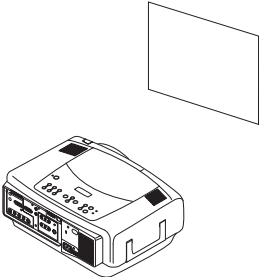
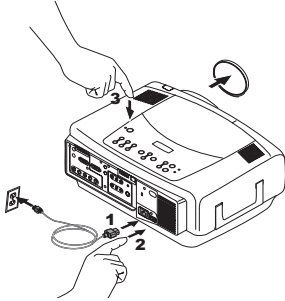
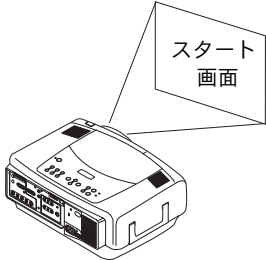
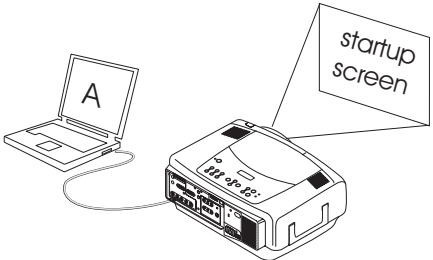

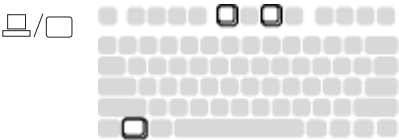
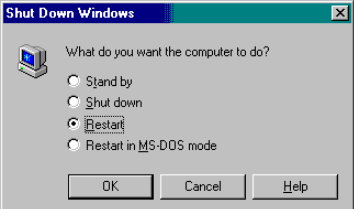
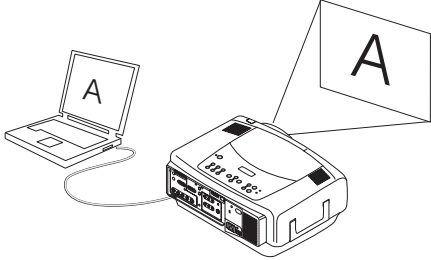
プロジェクトの電源を切るには、**Power** ボタンを押して再度電源ボタンを 3 秒間押して電源が切れたことを確認します。2 回目に **Power** ボタンを押さなかった場合は、シャットダウンをキャンセルできます。ランプがオフになり LED が 1 分以上緑色に点滅します。ファンはランプを冷却するために回転し続けます。ランプが冷えると LED の緑のライトが消えファンが停止します。プロジェクトの背面にある電源スイッチを押し、電源ケーブルを取り外して、プロジェクトの電源を完全にオフにします。

セットアップのトラブルシューティング

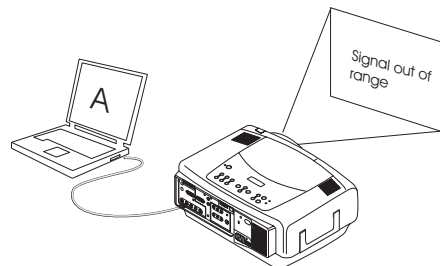
画面にイメージが正しく表示される場合は、次のセクションに進んでください。イメージが正しく表示されない場合は、セットアップのトラブルシュートを行います。プロジェクトの上部にある LED は、トラブルシューティングに役立つプロジェクトの状態を表しています。LED の動作とその意味については、47 ページの「LED の動作」を参照してください。

次の表に一般的な問題を示します。解決法が複数記載されている場合があります。記載されている順番に解決法を試してください。問題が解決された場合は、残りの解決法は無視してください。

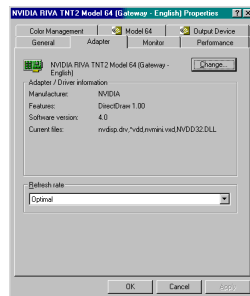
ソースのトラブルシューティング

問題	解決法	結果
<p>起動画面が表示されない</p> 	<p>電源ケーブルを差込み、電源スイッチを押し、Power ボタンを押します。レンズ キャップを外します。</p> 	<p>正しいイメージ</p> 
<p>起動画面のみが表示される</p> 	<p>Computer ボタンを押す  ノートブックコンピュータの外部ポートを有効にします。</p>  <p>または ノートブック を再起動 します。</p> 	<p>コンピュータのイメージが表示されます。</p> 

コンピュータのイメージが表示されず、「シグナルは範囲外です」というメッセージだけが表示される

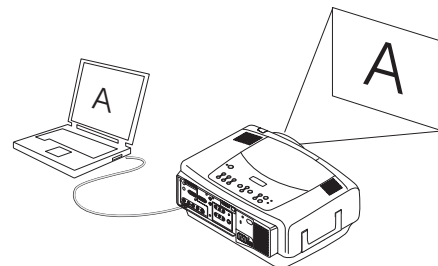


【コントロール パネル】>【画面】>【設定】>【詳細】>【アダプタ】でリフレッシュ レートを調整します（場所は、オペレーティング システムによって異なります）。

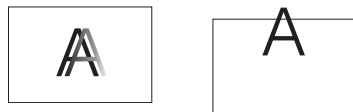


次のような「イメージが不鮮明または途中で切れる」のような問題は、コンピュータの解像度を変更する必要が生じる場合があります。

コンピュータのイメージが表示されます。

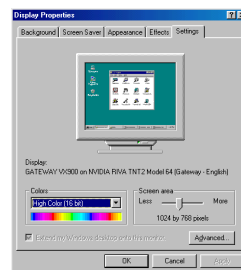


イメージがぼやけているまたは表示されない部分がある



コンピュータのディスプレイ解像度をプロジェクトのネイティブ解像度に設定します
〔スタート〕>〔コントロールパネル〕>〔画面〕>〔設定〕>タブで〔1024x768〕を選択します。

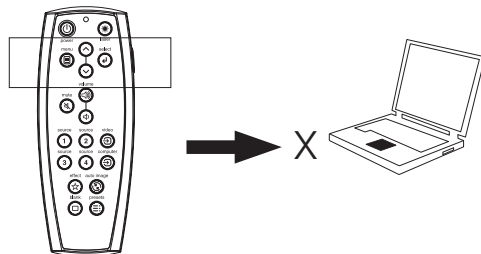
ノートブック
コンピュータでは、
モニタ
デュアルディス
プレイモードを
オンにします。



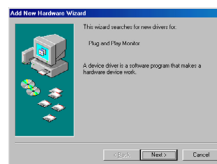
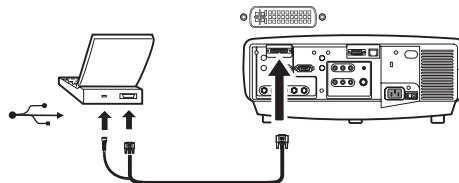
イメージが鮮明で完全に表示されます。



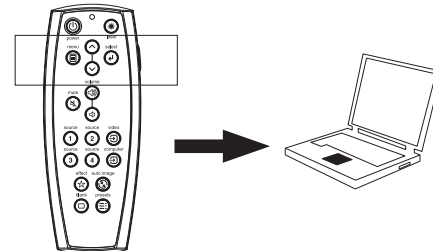
コンピュータでリモートコントロールのナビゲーションボタンが動作しない




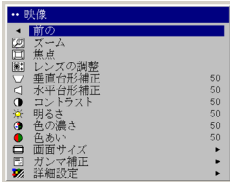


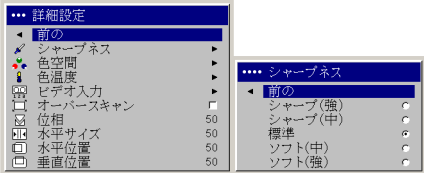




USB ケーブルを接続（9 ページ）してから、必要に応じて **USB ドライバ**を読み込みます（12 ページ）。または、ワイヤリモートケーブルを接続して、コンピュータを再起動します（9 ページ）。



リモートコントロールのナビゲーションボタン
リモートコントローラについて詳しくは、28 ページを参照してください。



プロジェクトのトラブルシューティング

問題	解決法	結果
<p>イメージが正方形ではない</p> 	<p>【映像】メニューでキーストーンを調整します。</p> 	<p>正方形のイメージ</p> 
<p>イメージが鮮明ではない</p> 	<p>キーボードで焦点または【映像】>【詳細設定】メニューで【シャープネス】を調整します。</p> 	<p>正しいイメージ</p> 
<p>イメージが 16:9 の画面に収まらない</p> 	<p>【映像】>【画面サイズ】メニューで比率を 4:3 または 16:9 に変更します。</p> 	<p>正しいイメージ</p> 

イメージが上下反対である



[設定] > [システム設定] メニューで [天吊り設置] をオフにします。



正しいイメージ



イメージが左右反対である



[設定] > [システム設定] メニューで [天吊り設置] をオフまたはオンにします。



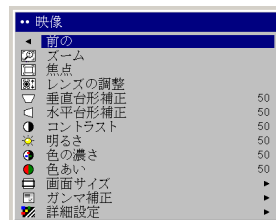
正しいイメージ



投影された色が信号源の色と合わない



メニューで色の濃さ、色あい、色温度、明るさ、コントラストを調整します。

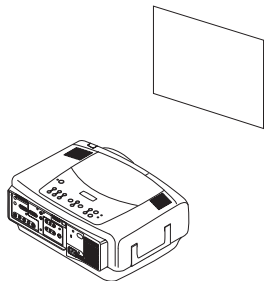


正しいイメージ

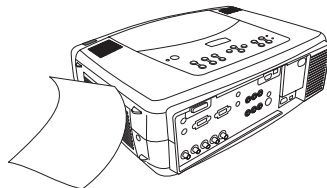
COLOR

ランプがオンにならず、温度 LED が赤く点灯する
(47 ページ)

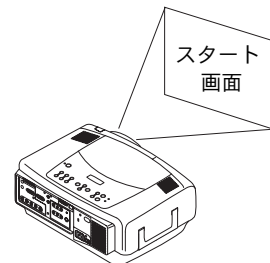
赤で
点灯 ——— ● temp
 ● lamp



通気口が塞がれていないことを確認してください。 프로젝タを 1 分間冷却させてください。

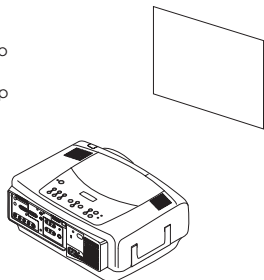


電源コードを抜いてから 1 分間待機した後に、電源コードを差し込んで電源を入れます。ランプが点灯します。

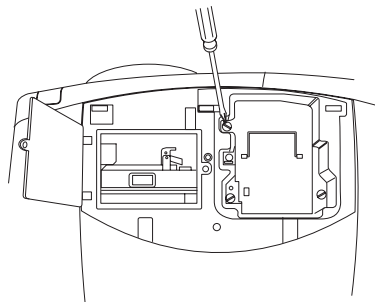


ランプがオンにならず、ランプ LED が赤く点滅する
(47 ページ)

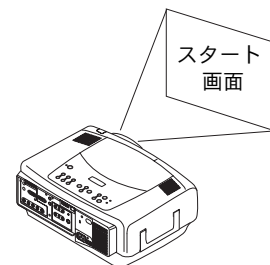
赤で
点滅 ——— ● temp
 ● lamp



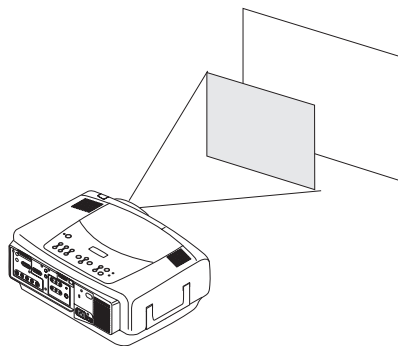
ランプを交換します (41 ページ)。



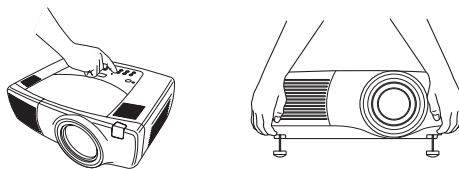
ランプがオンになります。



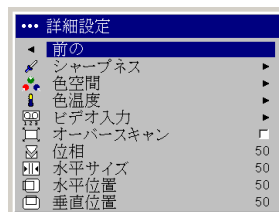
イメージが画面の中央に表示されない



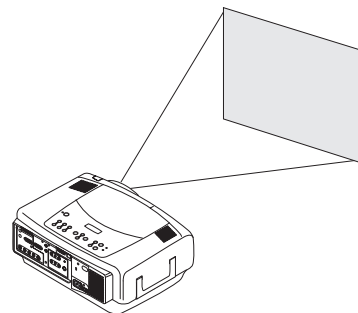
프로젝タを移動、キーパッドでズームまたはレンズシフトの調整、高さの調整を行います。



水平または垂直位置を調整します。
([映像]>[詳細設定]メニュー)



正しいイメージ



それでも問題が解決できない場合

この製品のトラブルシューティングには、InFocus のウェブサイトをご覧ください。
または、InFocus までご連絡ください。連絡先および関連ウェブサイトのアドレス一覧については、裏カバーの内側をご覧ください。

この製品には2年間の限定保証が付属しています。代理店から延長期間の保証を購入していただくこともできます。 프로젝タを修理のために返送する場合は、機器を元のパッケージ材を使って梱包するか、専門の梱包業者に依頼して梱包することをお勧めします。機器の輸送する場合に適切な保護を提供するオプションの ATA 輸送ケースを購入していただくこともできます。機器を返送する場合は、製品の価格に見合う保険をかけるようにしてください。

キーパッドボタンの使用

ほとんどのボタンは他の節で詳しく説明されています。ここでは、その機能の概要を説明します。

power - プロジェクタの電源オン（11 ページ）とオフ（17 ページ）を切り替えます。

lens shift - 投影イメージを上下に移動します。

zoom - 投影イメージを近くまたは遠くに移動します。

focus - 鮮明度を調整します。

menu - スクリーン メニューを開きます（32 ページ）。

上 / 下方向矢印 - メニューのナビゲートおよび設定の調整を行います 32 ページ）。

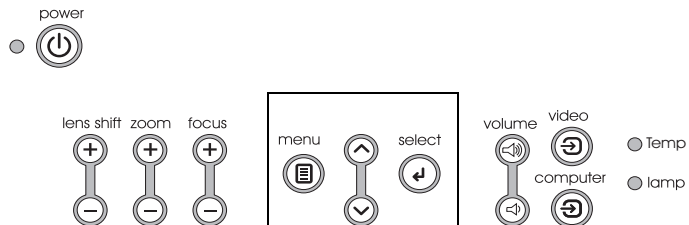
select - メニューの項目を選択します（32 ページ）。

volume - サウンドを調整します（29 ページ）。

video および **computer** - 入力源を変更します。

temp - 温度に関連する問題の警告メッセージを表示します（47 ページ）。

lamp - ランプに関連する問題の警告メッセージを表示します（47 ページ）。



メニューのナビゲーション ボタン

リモート コントロールの使い方

リモート コントロールは単 4 電池 2 個とともに出荷されています。電池は、リモート コントロールの背面にあるカバーをスライドさせて簡単に取り付けることができます。電池を挿入する際には、電池の + および - 電極を合わせ収納部に収め、カバーを取り付けてください。

リモート コントロールを使用するには、リモート コントロールをコンピュータではなく投影画面またはプロジェクタに向けます。最適な操作範囲は約 9.14m (30 フィート) です。

レーザー ポインタを使用するには、**Laser** ボタンを押しつつけます。ボタンを離すか 2 分間連続して使用すると、レーザーがオフになります。

警告 : リモート コントロールの上部から放射されるレーザー光を直視しないでください。

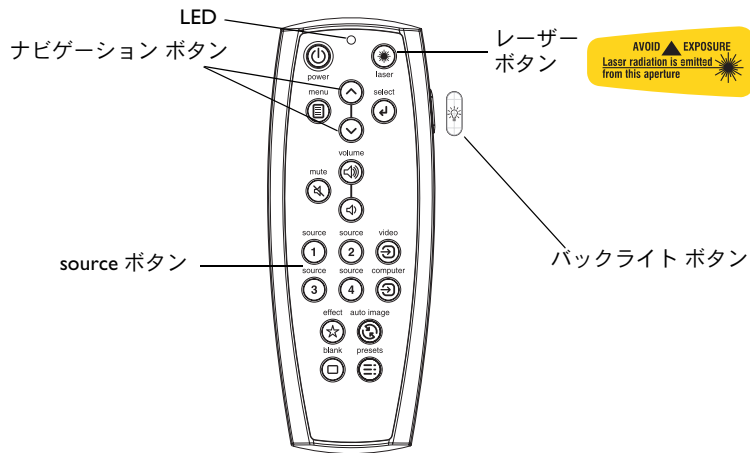
リモートには、特定の入力源に割り当てることができる 4 つの **Source** ボタンが付いています。入力源を変更するには、利用する入力源に該当する番号の付いた **Source** ボタンを押します。

リモートコントロールの **Menu** ボタンを押して、プロジェクタのメニューシステムを開きます。矢印ボタンを使ってメニューをナビゲートし、**Select** ボタンを使ってメニューの機能を選択したり値を調整します。

リモート コントロールには、プロジェクタのオンとオフを切り替える電源ボタンが付いています。さらに、音量を調整する **volume** および **mute** ボタン、暗い室内でリモート コントロールのボタンを見るためのバックライト ボタン、2 つの入力源を切り替える **video** および **computer** ボタンがあります。

2 つのプレゼンテーション特有の機能もあります。現在のスライドの代わりに空白の画面を表示するには **blank** ボタン、フリーズ、PiP、拡大などユーザ定義の操作を実行するには **effect** ボタンを使用します。

auto image ボタンは、コンピュータのイメージを再捕捉し、**presets** ボタンは、各入力源の設定をカスタマイズします。3 つの事前設定をカスタマイズして、保存しておくことができます。



リモート コントロールのトラブルシューティング

- 電池が正しい方向に収納されていることを確認してください。また、電池が切れていないかも確認します。ボタンを押したときに電池の電圧が十分である場合は、リモートの上部にある LED が点灯します。
- リモート コントロールはコンピュータではなくプロジェクタまたはスクリーンをポイントします。プロジェクタからの距離が約 9.14 m (30 フィート) 以内であることを確認してください。
- コンピュータのマウスを制御しようとしている場合は、マウス ケーブルが接続されていることを確認してください。M1 ケーブルの一部である USB ケーブルを使用している場合は、正しいドライバがインストールされていることを確認します。

オーディオの使い方

プロジェクトからのサウンドを再生するには、ソースをプロジェクトのオーディオ入力コネクタに接続します。

音量を調整するには、キーパッドまたはリモートコントロールのボタンを使用してください。

バランスまたは音量を調整するには、[音声]メニューを使用します (36 ページ)。

消音するには、**Mute** ボタンを押します。

オーディオのトラブルシューティング

サウンドが再生できない場合は、次のことを確認してください。

- オーディオケーブルが接続されている
- 消音をオンにしていない
- 音量が十分な大きさに調整されている キーパッドまたはリモートコントロールの音量ボタンを押します。
- 入力源に合った**オーディオ入力**に接続されていることを確認してください。

Computer 1 および **3** は、単一のオーディオ入力を共有します。

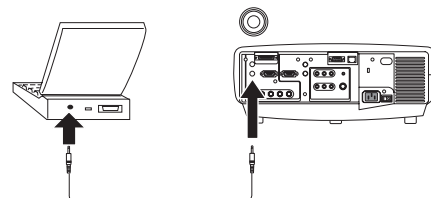
Computer 2 は、独自のオーディオ入力を持ちます。**Video 1、2** および **3** は、単一のステレオ入力を共有します。

- オーディオの信号源を調整します。
- ビデオを再生している場合は、再生機能が一時停止になっていないことを確認します。

外部スピーカーの接続

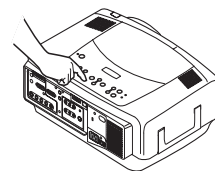
プロジェクトを独自の電源を使用する外部スピーカーに接続できます。これには、スピーカーのケーブルをプロジェクトの **Audio Out** コネクタに接続します。

オーディオ ケーブルを接続

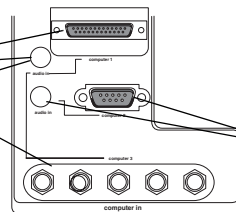


音量の調整

volume



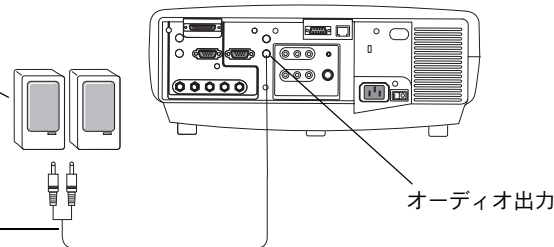
computer 1 および 3
該当するオーディオ



computer 2 および
該当する
オーディオ

外部スピーカー

スピーカー
ケーブル



コンピュータ イメージの最適化

コンピュータを正しく接続しコンピュータのイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、32 ページを参照してください。

- [映像]メニューで[台形補正]、[コントラスト]または[明るさ]を調整します。
- [画面サイズ]を変更します。画面サイズは、イメージの幅の高さに対する比で調整します。通常テレビ画面は、1.33:1 (4:3 としても知られています)。HDTV およびほとんどの DVD は、1.78:1 (または 16:9) となります。入力源に最適なオプションを選択します。詳しくは、33 ページを参照してください。
- [詳細設定]メニューで[色温度]を調整します。
- [詳細設定]メニューで[位相]、[水平サイズ]、[水平位置]、[垂直位置]を調整します。
- 特定のソース用にイメージを最適化したら、[ガンマ補正]を使ってその設定を保存できます。これにより、設定を後で素早く利用することができます。34 ページを参照してください。

プレゼンテーション機能

プレゼンテーションをより簡単に行うための機能が付属しています。次に概要を示します。詳しくは、32 ページページのメニューセクションを参照してください。

- リモートコントロールの **Effect** ボタンを使うと、ボタンにさまざまな機能を割り当てることができます。デフォルトの機能は、[拡大]です。[映像ミュート]、[ミュート]、[画面サイズ]、[入力設定]、[オートセット]、[フリーズ]、[拡大]、[状態表示]、[PiP ソース]から選択できます。詳しくは、38 ページを参照してください。
- [フリーズ]機能を使用すると、表示されているイメージをフリーズできます。これは、イメージを画面に表示しないでコンピュータでイメージを修正するような場合に便利です。
- リモートコントロールの **Blank** ボタンを使用すると、アクティブな信号源の代わりに空白の画面を表示できます。37 ページを参照してください。
- [PiP ソース]機能を使うと、コンピュータ イメージの上部にある小さなウィンドウに表示されるビデオソースを変更できます。38 ページを参照してください。
- [スタート画面]メニューのオプションを使用すると、デフォルトの起動画面を黒、白、青、[ロゴのキャプチャ]を使って取得したカスタム ロゴ画面のいずれで表示するかを変更できます。37 ページを参照してください。
- [節電モード]および[スクリーンセーバー]の2つのオプションは、特定の時間内に操作が何も行われなかった場合にプロジェクトを自動的にシャットダウンしたり、黒い画面を表示するためのオプションです。これはランプの寿命を延ばすのに役立ちます。36 ページおよび 37 ページを参照してください。
- プロジェクタのファンの音を下げるために[ローパワー]オプションを利用することもできます。36 ページを参照してください。

ビデオイメージの最適化

ビデオ デバイスを正しく接続してイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、32 ページを参照してください。

- [映像] メニューで [台形補正]、[コントラスト]、[明るさ]、[色の濃さ]、[色あい] を調整します。33 ページを参照してください。
- [画面サイズ] を変更します。[画面サイズ] は、イメージの幅の高さに対する比で表わされます。通常テレビ画面は、1.33:1 (4:3 としても知られています)。HDTV およびほとんどの DVD は、1.78:1 (または 16:9) となります。入力源に最適なオプションを選択します。33 ページを参照してください。
- [シャープネス] 設定を選択します。35 ページを参照してください。
- [色温度] を調整します。リストされている値を選択するか、[ユーザ] を選択して赤、緑、青の色の強度を個別に調整します。35 ページを参照してください。

プロジェクトのカスタマイズ

特定のセットアップやニーズに合わせてプロジェクトをカスタマイズできます。これらの機能について詳しくは、36 ページ～40 ページを参照してください。

- 背面投影には、[設定] > [システム設定] で [背面設置] モードをオンにします。
- 天井吊り投影には、[設定] > [システム設定] で [天井吊り設置] モードをオンにします。
- 電源投入時にプロジェクトがアクティブな信号ソースをどの種類からチェックするかを指定します。
- リモート コントロールでエフェクト キーの機能を指定します。
- プロジェクトの画面メッセージをオンおよびオフにします。
- 節電機能をオンにします。
- 空白画面とスタート画面の色を指定します。
- メニューの言語を指定します。
- ProjectorNet ソフトウェアを使ってプロジェクトを管理します。詳しくは、10 ページを参照してください。
- RS232 コマンドを使ってプロジェクトを制御します。10 ページを参照してください。
- オプションの長または短レンズを使って、特定の設置状態に合わせてプロジェクトをカスタマイズします。注文情報については、このユーザーズ ガイドの裏カバー内側をご覧ください。
- InFocus の ProjectorManager™ を使って、ノートブック コンピュータから投影する場合の制御を向上させることができます。このソフトウェアは、PC を高度なプロジェクト リモート コントロールとして使用するための無料アプリケーションです。

ProjectorManager は、プロジェクトに付属の CD にある InFocus のウェブサイト リンクからダウンロードできます。

メニューの使い方

メニューを開くには、キーパッドまたはリモート コントロールのメニュー ボタンを押します (ボタンを押さない時間が 60 秒以上続くとメニューが自動的に閉じます)。 [メイン メニュー] が表示されます。矢印ボタンを使って選択を上下し、使用するサブメニューをハイライトしてから、**Select** ボタンを押します。

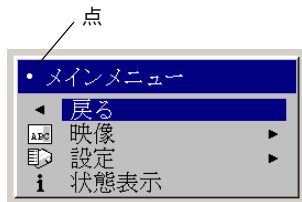
メニュー設定を変更するには、**Select** を押してから、上下矢印ボタンを使って値を調整、ラジオ ボタンを使ってオプションを選択、またはチェック ボックスを使って機能のオンとオフを切り替えます。**Select** を押して変更を適用します。矢印ボタンを使って他の設定にナビゲートします。調整が完了したら [前の] までナビゲートし、**Select** を押して前のメニューに戻ります。**Menu** ボタンを押していつでもメニューを閉じることができます。

メニュー名の前に点が表示されます。この点はメニューのレベルを示し、1 ~ 4 つの点が表示されます。点が 1 つの場合はメイン メニュー、点が 4 つの場合はネストされているメニューの最も下位のレベルであることを示しています。

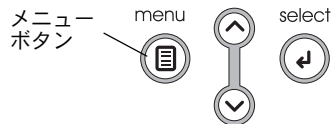
メニューは次のように利用目的によってグループ化されています。

- [映像] メニューでは、イメージの調整を行います。
- [設定] メニューでは、頻繁には変更しないセットアップタイプの調整を行います。
- [状態表示] メニューは、プロジェクトおよび入力源の情報を表示する読み取り専用のメニューです。

特定のソースを接続しないと表示されないメニュー項目もあります。たとえば、[シャープネス] はビデオ ソース専用のメニューで、コンピュータ ソースを使用しているときは表示されません。利用できない場合は灰色で表示されるメニュー項目もあります。たとえば、イメージがアクティブになるまで [明るさ] は灰色で表示されます。



メイン メニュー



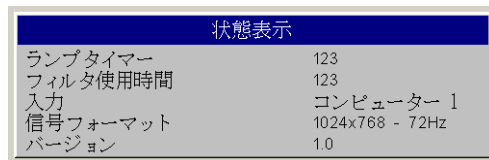
キーパッドのナビゲーション
ボタン



[映像]
メニュー



[設定]
メニュー



[状態表示] メニュー

[映像]メニュー

次の6つの設定を調整するには、設定をハイライトして **Select** を押し、上下矢印ボタンを使って値を調整してから [選択] を押して変更を適用します。

ズーム: レンズを調整し、ズーム インおよびアウトします。[ズーム] を選択してから、キーパッドまたはリモートの上下矢印を押します。

焦点: イメージへのレンズ焦点を調整します。[焦点] を選択してから、キーパッドまたはリモートの上下矢印を押します。

レンズの調整: レンズを機械的にシフトします。[レンズの調整] を選択してから、キーパッドまたはリモートの上下矢印を押します。

垂直台形補正: イメージを垂直方向に調整し、調整可能なスケール幅を使ってイメージをより正方形に近づけます。

水平台形補正: イメージを水平方向に調整し、調整可能なスケール幅を使ってイメージをより正方形に近づけます。

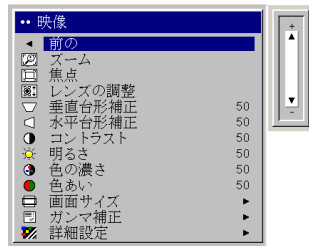
コントラスト: 画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差の度合いを制御し、イメージの黒と白の量を変更します。

明るさ: イメージの強度を変更します。

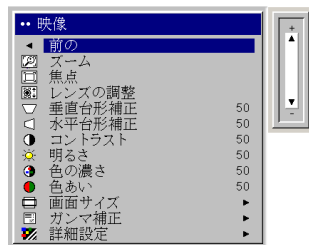
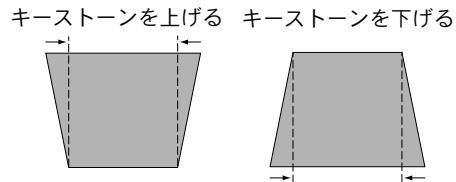
色の濃さ: (ビデオソースのみ) ビデオイメージを白黒から完全なカラーに調整します。

色あい: イメージの赤と緑のバランスを調整します。

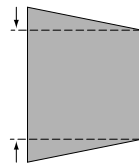
画面サイズ: [画面サイズ] は、イメージの幅の高さに対する比で表わされます。通常テレビ画面は、1.33:1 (4:3 としても知られています)。HDTV およびほとんどのDVD は、1.78:1 (または 16:9) となります。デフォルトは、[4:3] で、イメージが表示領域に収まるように入力イメージのサイズが変更されます。



垂直台形補正



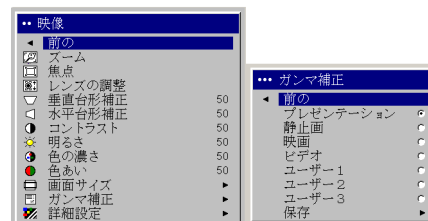
水平台形補正



画面サイズ

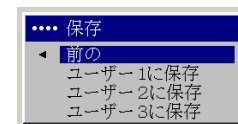
ガンマ補正: プロジェクタに付属のガンマ補正は、コンピュータ プレゼンテーション、写真、フィルム イメージ、ビデオ イメージを表示するために最適化されたイメージを表示するためのオプションです。(フィルム入力は、ムービーなど元々フィルムカメラでキャプチャされたものです。ビデオ入力は、テレビ番組やスポーツイベントなどビデオカメラでキャプチャされたものです。) まず最初に使用するモードとしてガンマ補正を使用し、各信号源の設定をさらにカスタマイズできます。カスタマイズした設定は、各ソースのガンマ補正に保存されます。工場出荷時の設定に戻すには、**[設定] > [サービス]** メニューで **[初期化]** を選択します。

さらに、3 つのユーザー定義可能なガンマ補正があります。現在のソースのガンマ補正を設定するには、**[ガンマ補正]** メニューで **[保存]** を選択してから、**[ユーザー 1 に保存]**、**[ユーザー 2 に保存]**、**[ユーザー 3 に保存]** のいずれかを選択します。該当するユーザーのモードを選択して、これらの設定を呼び出すことができます。



ガンマ補正

設定の保存



詳細設定

シャープネス : (ビデオソースのみ) ビデオイメージの縁の明瞭さを変更します。シャープネスの設定を選択します。

色空間 : このオプションは、コンピュータおよびコンポーネントビデオ信号源に適用されます。このオプションにより、入力信号用に特別に調整された色空間を選択できます。[自動判別] が選択されている場合は、プロジェクトが規格を自動的に判断します。異なる設定を選択するには、[自動判別] をオフにしてコンピュータソースには [RGB]、コンポーネントビデオソースには [SMPTE240]、[REC709]、[REC60] のいずれかを選択します。

色温度 : 色の強度を変更します。リストされている値を選択するか、[ユーザ] を選択して赤、緑、青の色の強度を個別に調整します。

ビデオ入力 : [自動判別] に設定されている場合は、プロジェクトが受信する入力信号を基にビデオ規格が自動的に判断されます。(ビデオ規格オプションは、お使いの地域によって異なります。) プロジェクトが正しい規格を検出できない場合は、色が正しく表示されなかったり、イメージが「破れる」場合があります。この場合は、[ビデオ入力] メニューから [NTSC]、[PAL]、[SECAM] を選択して、手動でビデオ規格を選択します。

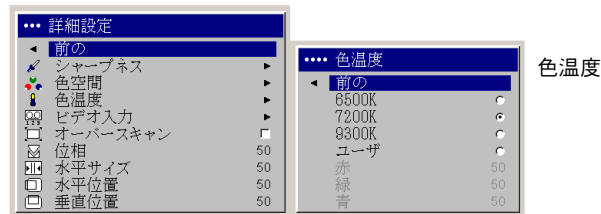
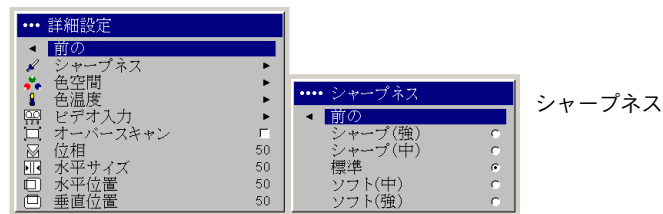
オーバースキャン : (ビデオソースのみ) ビデオイメージの周りにあるノイズを取り除きます。

次の4つのオプションは、コンピュータソースのみで利用できます。

位相 : コンピュータ信号源の水平相を調整します。

水平サイズ : コンピュータ信号源の垂直走査を調整します。

水平 / 垂直位置 : コンピュータ信号源の位置を調整します。



[設定]メニュー

音声： [バランス] および [音量] を調整します。また、 [内部] スピーカーおよびプロジェクト起動時の [チャイム] のオンとオフを切り替えることができます。

入力： このオプションにより、統合リモートコントロールを使用している場合に、特定の信号源キーに特定の入力を割り当てることができます。また、電源オン時のデフォルト入力を選択したり、自動信号選択のオンとオフを切り替えることもできます。

入力 > 電源オン時入力： このオプションは、電源投入時にプロジェクトがアクティブな信号のソースをどの種類からチェックするかを決定します。

入力 > 自動入力選択： [自動入力選択] が選択されていない場合は、プロジェクトは [電源オン時入力] で選択されている信号源をデフォルトとして使用します。信号源が見つからなかった場合は、空白の画面が表示されます。 [自動入力選択] が選択されている場合は、 [電源オン時入力] が起動時にプロジェクトがデフォルトとして使用する信号源を判断します。信号が存在しない場合は、信号源が見つかるか電源がオフになるまでプロジェクトが信号をチェックし続けます。

システム設定 > 背面設置： 透明なスクリーンの後ろから投影できるようにイメージを逆にします。

天吊り設置： 天井吊りでプロジェクトを設置した場合に正しくイメージを投影できるようにイメージの上下を逆にします。

IR レシーバー： 環境での干渉を避けるため、個々の IR レシーバーをオンまたはオフにします。

自動電源オン： [自動電源オン] が選択されている場合は、プロジェクトの電源がオンになった後で自動的に起動状態に入ります。これにより、壁の電源スイッチを使って天井吊りにしたプロジェクトを制御できます。

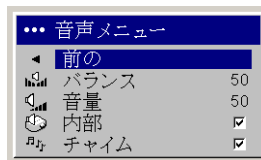
メッセージ表示： 画面の左下隅にインフォメーションメッセージを表示します (「検索中」や「消音」など)。

ローパワー： オンとオフを切り替えます。オンにするとランプのライト出力を下げます。これは、ファンの回転速度も下げるため、プロジェクトの音が静かになります。

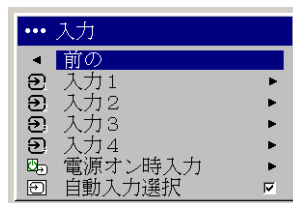
NND： ノートブック コンピュータがスクリーンセーバーモードになるのを防ぎます (USB コネクタを接続している場合のみの機能です)。

節電モード： 20 分間信号が検出されない場合にランプを自動的にオフにします。さらに 10 分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクトの電源が切

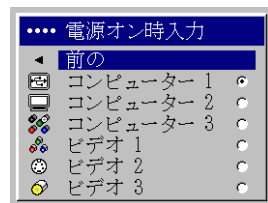
れます。プロジェクトの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。



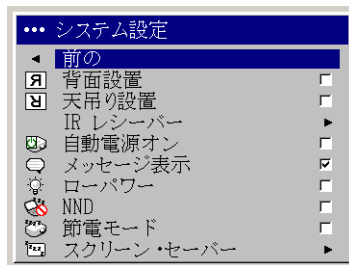
音声



入力



電源オン時
入力



[システム設定]メニュー

IR レシーバー



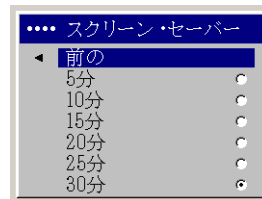
スクリーン セーバー：信号が5分間検出されない場合に、画面を自動的に空白にします。アクティブなソースが検出されるか、リモート コントロールかキーパッドのボタンを押すとイメージが再度表示されます。[節電モード] が使用可能なときは[スクリーン セーバー] は無効になります。

スタート画面：起動時および信号源が検出されなかった場合にデフォルトの画面の代わりに空白の黒、白、または青の画面を表示します。カスタムのスタート画面をキャプチャし、表示することもできます。

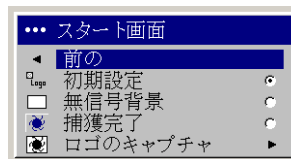
カスタム ログをキャプチャするには、コンピュータでキャプチャするイメージを表示し、[ログのキャプチャ] オプションを選択します。[**ログのキャプチャ**] メニューから[キャプチャー水平位置] および[キャプチャー垂直位置] を使って、キャプチャするログのフレームを調整します。[**ログのキャプチャ**] メニューの[キャプチャー開始] を押します。キャプチャが完了または失敗したかどうかのメッセージが表示されます。

プロジェクトを次に起動すると、キャプチャしたカスタム ログが表示されます。

無信号背景：リモートコントロールの **Blank** ボタンを押したときに表示する色を指定します。

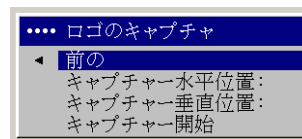


スクリーン セーバー



スタート画面

ログのキャプチャ



無信号背景

PiP (Picture in Picture: ピクチャ イン ピクチャ) : 大きなコンピュータ入力ウィンドウの上部に小さなビデオ入力用のウィンドウを重ねて表示できます。ビデオ入力2および3 (コンポジットおよびS-ビデオ) のみがPiPをサポートしています。PiPを使用するには、コンピュータとビデオ入力両方が接続されていなければなりません。小さなPiPウィンドウには、コンピュータイメージを表示することはできません (ビデオイメージのみ)。ウィンドウの大きさは、小、中、または大から選択できます。また、メニューの [PiP 水平位置] および [PiP 垂直位置] オプションか [左上]、[右上]、[左下]、[右下] オプションを使って、PiPウィンドウを配置する画面での位置を移動できます。上下矢印を押して、位置を変更します。

機能キー : 機能を簡単に素早く使用できるように、リモートコントロールで **Effect** ボタンに異なるキーを割り当てることができます。一度に1つのエフェクトしか使用できません。機能をハイライトして **Select** を押して異なる機能を選択します。

映像ミュート : 空白の画面を表示します。

ミュート : サウンドをオフにします。

画面サイズ : イメージの幅の高さに対する比を設定します。

入力設定 : 利用できる入力を切り替えます。

オートセット : コンピュータの入力を再捕捉します。

フリーズ : 投影されているイメージをフリーズします。

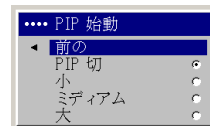
拡大 : デフォルトの機能です。投影イメージの部分を拡大できます。

状態表示 : [状態表示] メニューを表示します。

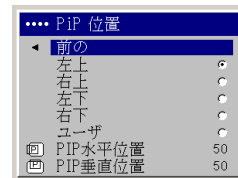
PiP ソース : 投影スクリーンに表示する小さなPiPウィンドウのビデオソースを変更します。



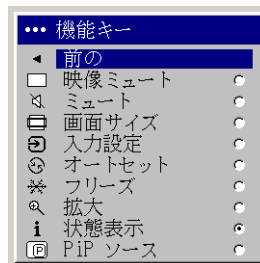
[PiP] メニュー



PiP 始動



PiP 位置



機能キー

ネットワーク : プロジェクトにはネットワーク接続と TCP/IP プロトコルをサポートする RJ45 Ethernet コネクタが付いています。これにより、プロジェクトを企業のネットワークを介して制御および管理できます。DHCP が選択されていず、データの手動エントリが利用可能な場合は、次のフィールドを利用できます。

IP アドレス : ネットワーク上でプロジェクトを識別します。

サブネット マスク : IP アドレスのネットワーク アドレス部を分離します。

デフォルト ゲートウェイ : ローカル ルーターの IP アドレスです。

DHCP : これを選択すると、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイが自動的に取得されます。

ネットワーク情報 : ネットワーク構成の情報を表示します。

[**ネットワーク情報**] メニューは、編集できない表示専用のオプションです。このオプションを使用すると、現在の IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイ、プロジェクトの MAC アドレスが表示されます。

言語 : メニューおよびメッセージを画面に表示する言語を選択できます。

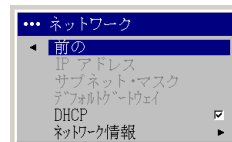
サービス : これらの機能を使用するには、機能を選択して **Select** を押します。

初期化 : 確認のダイアログ ボックスを表示した後、すべての設定（ランプ時間とネットワーク設定を除く）をデフォルト値に戻します。

ランプ リセット : [状態表示] メニューのランプ時間カウンタをゼロにリセットします。これはランプを交換した場合にだけ行ってください。確認のダイアログ ボックスが表示されます。

フィルタ リセット : [状態表示] メニューのフィルタ カウンタをゼロにリセットします。これはフィルタを交換した場合にだけ行ってください。確認のダイアログ ボックスが表示されます。

サービス コード : 認定されたサービス担当者のみが利用するオプションです。



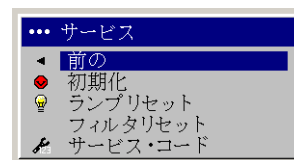
ネットワーク



ネットワーク情報



言語



[サービス] メニュー

保守

注意: プロジェクタの保守作業を行う場合は、マイナスのネジ山を持つネジのみを取り外してください。プラスまたは星型など、この他のネジは外さないでください。これらのタイプのネジは、技術サポートの担当者のみが取り外すネジになっています。

レンズのクリーニング

- 1 研磨性でないカメラ レンズ用のクリーナーと柔らかい乾いた布を使ってクリーニングします。

クリーナーを使いすぎないように注意してください。クリーナーを直接レンズに付けないでください。研磨性のクリーナー、溶剤、強い化学クリーナーはレンズに傷を付けることがあります。

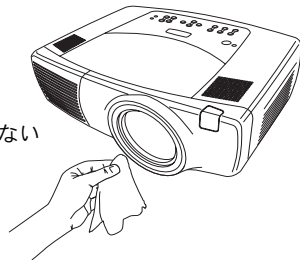
- 2 回転動作を使ってクリーニング用の布で軽く拭き取ります。プロジェクタを使用しない場合は、レンズキャップを装着してください。

レンズのクリーニング

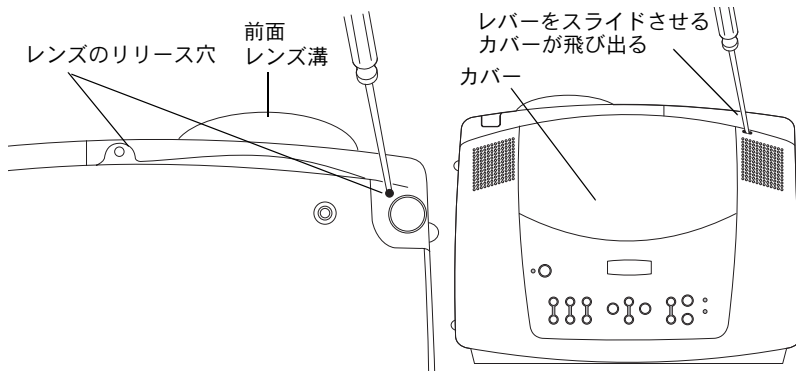
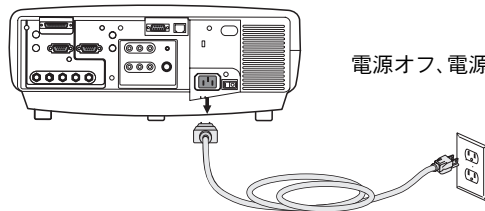
プロジェクタには、長または短レンズを使用できます。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源ケーブルを外します。
- 2 レンズを上に向けた状態でプロジェクタを縦にし、ネジ回しを使って前面のレンズ溝にあるリリース穴をプロジェクタの下部から取り外します。
- 3 前面のレンズ溝を持ち上げます。
- 4 プロジェクタの上部にあるスロットにマイナスのネジ回しを静かに入れ（右のスピーカーの近くから）、小さなレバーを右のスピーカーに向かってスライドさせます。レンズを保護しているカバーとランプ収納部が飛び出ます。
- 5 レンズ収納部をカバーしているドアの固定ネジを緩めます。

柔らかい乾いた布で
レンズをクリーニング
研磨剤クリーナーは使用しない

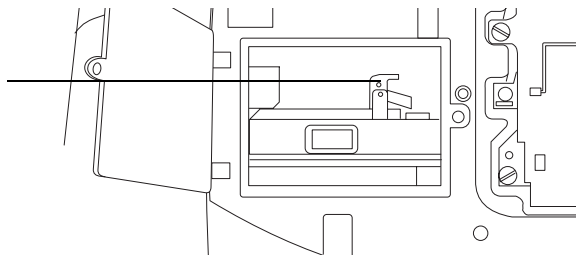


電源オフ、電源コードを取り外す



- 6 レンズを取り外すには、レンズ収納部の中にあるレバーを押し、レンズが止まるまで半時計回り方向に回します。レンズを取り外します。
- 7 新しいレンズを取り付けるには、プロジェクタの前面から開いている部分にレンズを置き、赤い点（レンズの底部近く）をプロジェクタの赤い点に合わせます。カチッと音がしてレンズが収まるまでレンズを時計回り方向に回します。
- 8 レンズ収納部ドアの固定ネジを締め付けます。前面のレンズ溝をプロジェクタに置き、プロジェクタの底部に2つのネジを取り付けます。プロジェクタの上部にレンズを保護しているカバーとランプ収納部を取り付けます。

内部のレバー
レンズ収納部



投影ランプの交換

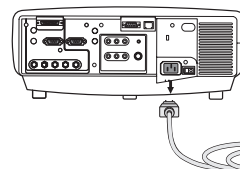
[状態表示] メニューの [ランプ時間] タイマーは、ランプが使用された時間数をカウントします。ランプ寿命時間の指定した終わりの 20 時間前になると、投影画面に「ランプの交換」というメッセージが短時間表示されます。20 時間経つと、ランプが点灯しなくなります。ランプは代理店からご注文いただけます。詳しくは、プロジェクタに付属のアクセサリ カタログまたは InFocus のウェブサイトをご覧ください。

状態表示	
ランプタイマー	123
フィルタ使用時間	123
入力	コンピューター 1
信号フォーマット	1024x768 - 72Hz
バージョン	1.0

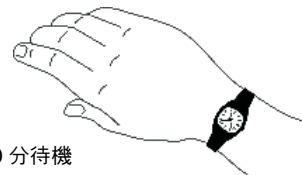
[状態表示] メニュー

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源ケーブルを外します。
- 2 60 分プロジェクタを放置して、完全に冷えるまで待ってください。
- 3 プロジェクタの上部にあるスロットにマイナスのネジ回しを静かに入れ（右のスピーカーの近くから）、小さなレバーを右のスピーカーに向かってスライドさせます。レンズを保護しているカバーとランプ収納部が飛び出ます。

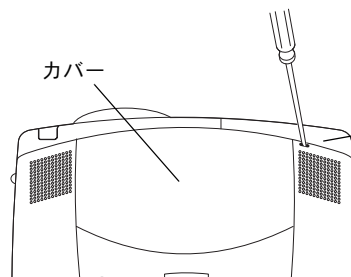
ランプ モジュールは右側にあります。



電源オフ、
電源コードを取り外す



60 分待機



カバー

レバーを
カバーが飛び出る

4 ランプ モジュールの3つの専用ネジを緩めます。

警告:

- 火傷を防ぐため、ランプの交換を行う前にプロジェクタの電源を切ってから60分間放置してください。
- ランプ モジュールを落とさないでください。ガラスが割れて怪我を招くことがあります。
- ガラスのランプ スクリーンに触れないでください。指紋が付くと投影の鮮明度が落ちることがあります。
- ランプを収納部から外す時は十分に注意してください。稀にランプが破裂して、小さな破片が飛び散ることがあります。ランプ モジュールはこのような破片が飛び散らないようにデザインされていますが、ランプの取り外しには十分注意してください。

5 金属の枠ワイヤーを持ち上げてランプ モジュールを注意深く取り外します。ランプは環境的に正しい方法で破棄してください。

6 新しいランプ モジュールを取り付け、しっかりと収まったことを確認します。

7 3つの固定ネジを締め付けます。

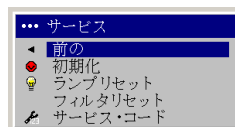
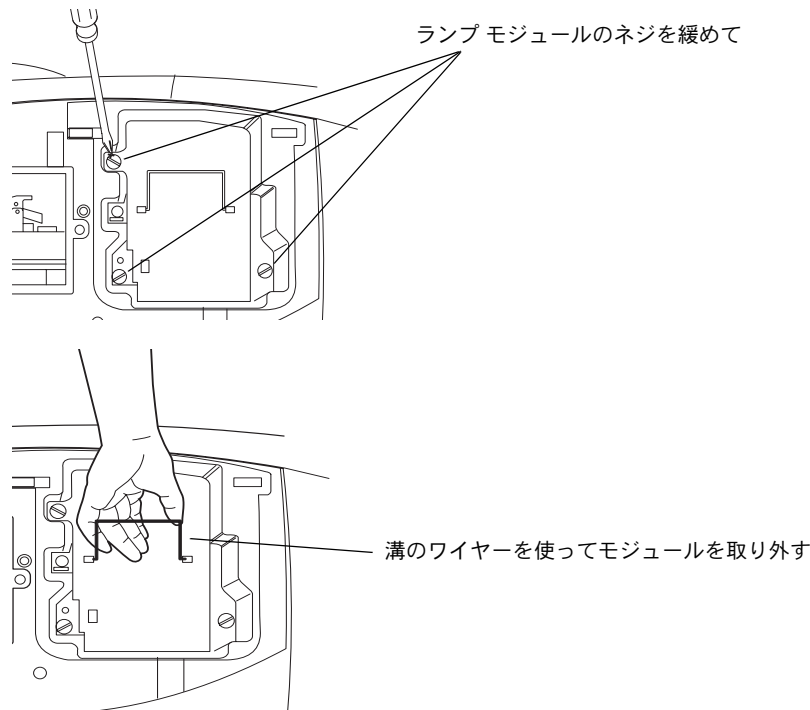
8 タブ溝にタブを挿入し、カバー全体を押し付けて、ランプ モジュールの上にカバーを取り付けます。

9 電源コードを差し込んで、電源スイッチを押してから、Power ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。

10 ランプ時間タイマーをリセットします。39 ページを参照してください。

ランプ時間タイマーのリセット

ランプ タイマーがプロジェクタのランプの最大使用時間（1500 時間）に達すると、プロジェクタ キーパッドにある LED がランプ エラーを示します（47 ページの LED の動作を参照）。ランプ タイマーをリセットするには、キーパッドの音量を下げるボタンと上げるボタンを同時に 10 秒間押します。この時点で LED が緑に点灯し、プロジェクタの電源をオンにできるようになります。または、[設定]>[サービス]メニューから[ランプのリセット]を選択して、ランプ タイマーをリセットすることもできます。



[サービス]メニューでランプ時間をリセット

ほこりフィルタのクリーニング

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源ケーブルを外します。
- 2 60 分プロジェクタを放置して、完全に冷えるまで待ってください。
警告: 火傷を防ぐため、ほこりフィルタのクリーニングまたは交換を行う前にプロジェクタの電源を切ってから 60 分間放置してください。
- 3 プロジェクタの側面にある網上部の 2 つのタブを引き下ろし、ほこりフィルタの網状のドアを取り外します。
- 4 ほこりフィルタの中央にあるタブを押して、フィルタを持ち上げます。
- 5 掃除機を低速に設定してフィルタをクリーニングします。
- 6 ほこりフィルタおよびほこりフィルタの網状のドアを取り付けます。
- 7 フィルタ時間タイマーをリセットします。

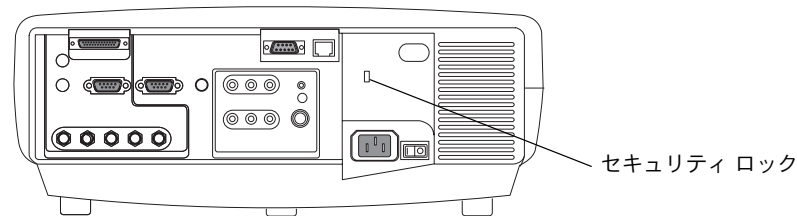
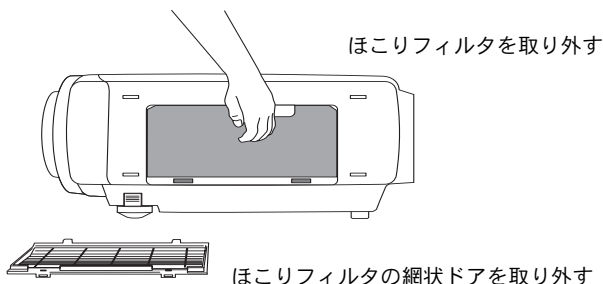
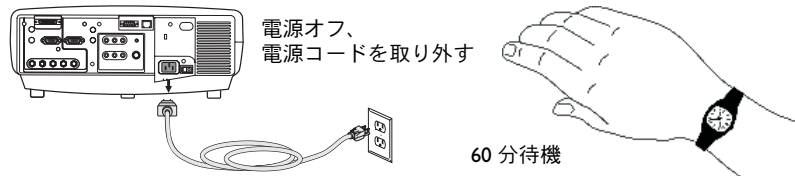
トラブルシューティング

温度およびランプ LED がフィルタの問題を示している場合は、次のことを確認してください。

- 柔らかい布を使って、ほこりフィルタの網にあるミラーを拭いてください。
- ほこりフィルタを取り外し、柔らかい布を使ってフィルタの背後にある窓を拭きます。
- ほこりフィルタおよびほこりフィルタの網状のドアを取り付けます。

セキュリティロックの使い方

プロジェクタにはケーブル ロック システムを使ったセキュリティ ロックがあります。ご注文について詳しくは、プロジェクタに付属のアクセサリ カタログまたは InFocus のウェブサイトをご覧ください。ロックの使い方はロックに付属のマニュアルに記載されている情報を参照してください。



付録

投影イメージサイズ

注意：InFocus のウェブサイトには、インタラクティブのイメージ サイズ計算ツールがあります。

表 1: 投影サイズ: 標準レンズ (1.5 ～ 2.2:1 の投影レンズ)

距離 (m)	最小のイメージ		最大のイメージ	
	対角線 (m)	イメージの幅 (m)	対角線 (m)	イメージの幅 (m)
最小の距離 0.9	0.52	0.42	0.76	0.55
1.5	0.87	0.69	1.27	1.39
3.0	1.73	1.39	2.54	2.77
6.1	3.46	2.77	5.08	4.06
9.1	5.2	4.16	7.62	6.10
12.2	6.93	5.54	10.16	8.13
最大の距離 13.9	7.88	6.20	11.56	9.25

標準レンズのイメージ オフセットの範囲は、10:1 (100%) ～ 1:1 (50%) です。

表 2: 投影サイズ: 短固定レンズ (0.8:1 の投影レンズ)

距離 (m)	イメージのサイズ	
	対角線 (m)	イメージの幅 (m)
最小の距離 0.9	1.43	1.14
1.5	2.38	1.91
3.0	4.76	3.81
最大の距離 3.7	5.72	4.57

固定焦点の短レンズの最適オフセットは、50% (軸で) です。

表 3: 投影サイズ: 短ズーム レンズ (1.1 ~ 1.5:1 の投影率範囲)

距離 (m)	最小のイメージ		最大のイメージ	
	対角線 (m)	イメージの幅 (m)	対角線 (m)	イメージの幅 (m)
最小の距 0.6	0.51	0.41	0.69	0.55
1.5	1.27	1.02	1.73	1.39
3.0	2.54	2.03	3.46	2.77
6.1	5.08	4.06	6.93	5.54
7.6	6.35	5.08	8.66	6.93
最大の距 9.3	7.75	6.2	10.56	8.45

短レンズのイメージ オフセットの範囲は、10:1 (100%) ~ 1:1 (50%) です。

表 4: 投影サイズ: 長レンズ (2.2 ~ 4.2:1 の投影率範囲)

距離 (m)	最小のイメージ		最大のイメージ	
	対角線 (m)	イメージの幅 (m)	対角線 (m)	イメージの幅 (m)
最小の距離 1.3	0.39	0.31	0.73	0.58
3.0	0.93	0.74	1.73	1.39
6.1	1.86	1.49	3.46	2.77
9.1	2.79	2.23	5.2	4.16
12.2	3.72	2.97	6.93	5.54
18.3	5.58	4.46	10.39	8.31
最大の距離 18.3	7.73	6.19	14.41	11.53

長レンズのイメージ オフセットの範囲は、10:1 (100%) ~ 1:1 (50%) です。

表 5: 投影サイズ: 超長レンズ (3.9 ~ 7.3:l)

	最小のイメージ		最大のイメージ	
距離 (m)	対角線 (m)	イメージの幅 (m)	対角線 (m)	イメージの幅 (m)
最小の距離 2.3	0.39	0.31	0.73	0.59
7.6	1.3	1.04	2.44	1.95
15.2	2.61	2.09	4.88	3.91
22.9	3.91	3.13	7.33	5.86
30.5	5.22	4.18	9.07	7.82
38.1	6.52	5.22	12.21	9.77
最大の距離 44.7	7.65	6.12	14.31	11.45

超長レンズのイメージ オフセットの範囲は、10:1 (100%) ~ 1:1 (50%) です。

LED の動作

LED の色 / 動作	意味
電源：緑に点滅 温度：なし ランプ：なし	電源ボタンがオンになりソフトウェアが初期化されたか、プロジェクタの電源がオフになったがランプの冷却用にファンが回転しています。
電源：緑に点滅（1 回） 温度：なし ランプ：なし	節電またはスクリーン セーバーがオンになっています。
電源：緑に点灯 温度：なし ランプ：なし	電源スイッチをオンに切り替えソフトウェアが初期化されたか、電源がリモートコントロールを使ってオフにされました。
電源：緑に点灯 温度：赤に点滅 ランプ：赤に点滅	<p>温度およびランプ LED が同時に点滅している場合は、フィルタが 100 時間クリーニングされていません。</p> <p>温度とランプ LED が同時に 2 回点滅する場合は、冷却エア フィルタにほこりがたまっています。43 ページのほこりフィルタのクリーニングを参照してください。</p> <p>温度およびランプ LED が交互に点滅する場合は、プロジェクタの温度がが温度仕様の値より下回っています。プロジェクタは、0μC/32μF ~ 35μC/95μF の環境でご利用ください。問題が解決できない場合は、技術サポートまでお問い合わせください。</p>

LED の色 / 動作	意味
電源：赤に点灯 温度：なし ランプ：赤に点滅	<p>1 回点滅：ランプが点灯しません。</p> <p>2 回点滅：ランプが使用時間制限を越えました。</p> <p>3 回点滅：ランプが故障しています。</p> <p>4 回点滅：ランプの収納部ドアが開いています。</p> <p>プロジェクタの電源を切り 1 分間待機してから、プロジェクタを再度オンにします。ランプの寿命時間を超えた場合は、ランプを交換して、ランプ タイマーをリセットします。問題が解決できない場合は、テクニカル サポートまでお問い合わせください。</p>
電源：赤に点灯 温度：赤に点滅 ランプ：なし	ファンが故障しています。通気口が塞がれていないかどうかを確認してください。問題が解決できない場合は、テクニカル サポートまでお問い合わせください。
電源：赤に点灯 温度：赤に点灯 ランプ：なし	プロジェクタが過熱しています。問題が解決できない場合は、テクニカル サポートまでお問い合わせください。
電源：赤に点灯 温度：なし ランプ：なし	不明なエラーが発生しました。テクニカル サポートにお問い合わせください。

RS-232 コマンド

通信構成

RS-232 設定と情報について詳しくは、InFocus のウェブサイトをご覧ください。

RS-232 を使ってプロジェクトを制御するには、ヌル モデム ケーブルを接続し、次の通信構成に一致するように、コントロール システムのシリアル ポート設定を構成します。

RS-232 ポートの設定	
設定	値
毎秒のビット数	19,200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし
エミュレーション	VT100

コマンド形式

すべてのコマンドは、3 つのアルファ文字と要求、さらに閉じ括弧で構成されます。要求は、読み取り（「?」で示されます）または書き込み（1 ～ 4 桁の ASCII で示されます）になります。

読み取りの要求例：

- (AAA#####) で
- (はコマンドの開始
- AAA はコマンドの意味
- ? 読み取り要求の意味
-) はコマンドの終了

読み取りコマンドは、範囲および現在の設定を返します。たとえば、次のようになります。

読み取りコマンドの例		
機能	コマンド	応答
明るさ	(BRT?)	(96-160,128)
音量	(VOL?)	(0-32, 0)
ランプ時間	(LMP?)	(0-65534, 42)

書き込みの要求例：

- (AAA#####) で
- (はコマンドの開始
- AAA はコマンドの意味
- ##### は書き込まれる値（最初のゼロは必要なし）
-) はコマンドの終了

コマンドによって、範囲を持つ場合と絶対値を持つ場合があります。最大範囲よりも大きな数字が受信されると、その機能に対して最大値が自動的に設定されます。理解できないコマンドが受信されると、「?」が返されます。絶対値設定では、「0」がオフで「1 ～ 9999」がオンになります。ただし、Power コマンドでは、0 がオフ、1 がオンになります。

プロジェクトがコマンドを確実に処理できるように、次のコマンドを入力する前に 3 秒間待機してください。

書き込みコマンドの例

機能	コマンド	応答
明るさ	(BRT140)	明るさを 140 に設定
電源	(PWR0)	電源をオフ
電源	(PWR1)	電源をオン

エラー状態

すべてのプロジェクトですべてのコマンドがサポートされているとは限りません。サポートされていないコマンドが要求されると、コマンドは無視されます。理解できないコマンドを受信されると、コマンドの処理が不可能であることを示す「？」が返されます。

制限

プロジェクトは、非常に速く入力されるコマンドには応答できません。つまり、コマンドが正しく実行されるためには、コマンド間で多少の遅延が必要となります。プロジェクトがコマンドを確実に処理できるように、次のコマンドを入力する前に 3 秒間待機してください。

「ステップ」欄は、画面表示が正確に値に一致しないため、メニューバーの位置の増減位置を表わしています。たとえば、ステップ 2 は、CLI（コマンドライン インターフェイス）ではデータが 2 だけ変更されます。メニューバーは 1 上がります（または下がります）。

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
自動電源オン 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み取りで APO	0	1	0	
画面サイズ 0: ネイティブ 1: 16:9 2: 4:3	書き込み / 読み取りで ARZ	0	2	2	
自動信号源 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み取りで ASC	0	1	1	
バランス	書き込み / 読み取りで BAL	0	100	50	1
青のゲイン	書き込み / 読み取りで BCG	0	100	50	2
明るさ	書き込み / 読み取りで BRT	96	160	128	1
無信号背景 0: 黒 1: 青 2: 白	書き込み / 読み取りで BSC	0	2	1	
映像ミュート 0: オフ 1: オン	書き込みで BLK	0	1	-1	
天吊り 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み取りで CED	0	1	0	

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
色	書き込み / 読み取りで CLR	65	191	128	1
コントラスト	書き込み / 読み取りで CON	96	160	128	1
色空間 0: RGB 1: SMPTE240 2: REC709 3: REC601 7: 自動	書き込み / 読み取りで CSM	0	7	7	
緑のゲイン	書き込み / 読み取りで GCG	0	100	50	2
垂直台形補正:	書き込み / 読み取りで DKC	78	178	128	1
水平台形補正:	書き込み / 読み取りで DKH	78	178	128	1
メッセージ表示 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み取りで DMG	0	1	1	1
電源オン時入力 0: computer 1 1: computer 2 2: video 1 3: video 2 4: video 3 5: computer 3	書き込み / 読み取りで DSC	0	5	0	

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
スタート画面 0: 無信号背景 : 1: デフォルト 2: キャプチャ	書き込み / 読み取りで DSU	0	2	1	
機能 0: 映像ミュート 1: ミュート 2: 画面サイズ 3: 入力設定 4: オートセット 5: フリーズ 6: ズーム 7: PiP ソース	書き込み / 読み取りで EFK	0	8	7	1
水平位置	書き込み / 読み取りで HPS	デフォルト : -50	デフォルト : +50	自動	1
言語 0 = 英語 1 = フランス語 2 = ドイツ語 3 = スペイン語 4 = 繁体中国語 5 = 日本語 6 = 韓国語 7 = ポルトガル語 8 = ロシア語 9 = ノルウェー語 10 = 簡体中国語 11 = イタリア語	書き込み / 読み取りで LAN	0	11	0	1

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
最後のバルブ 1 の時間	読み取りで LBI	0	32766	0	
最後のバルブ 2 の時間	読み取りで LB2	0	32766	0	
最後のバルブ 3 の時間	読み取りで LB3	0	32766	0	
ランプ点灯 0: 点灯なし 1: 点灯	読み取りで LML	0	1		
ランプ時間	読み取りで LMP	0	65534	0	1
ランプ リセット 0: リセット なし 1: リセット	書き込み / 読み 取りで LMR	0	32766	0	
ランプの総合 使用時間 (全バルブ)	読み取りで LMT	0	214748 3646		
ローパワー 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで LPE	0	1	0	
メニュー 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで MNU	0	1	0	
相	書き込み / 読み 取りで MSS	0	31	18	1

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
ミュート 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで MTE	0	1	0	
画像幅	書き込み / 読み 取りで MTS	デフォルト: -128	デフォルト: +128	自動	1
メニュー ナビゲーション 0: 上 1: 下 4: 選択	書き込みで NAV	0	4	-1	
NND 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで NND	0	1	1	
総合オン時間	読み取りで ONL	0	214748 3646	0	
オーバースキャン 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで OVS	0	1	0	
ガンマ補正 0: プレゼン テーション 1: 写真 2: フィルム 3: ビデオ 10: ユーザー 1 11: ユーザー 2 12: ユーザー 3	書き込み / 読み 取りで PST	0	12	c: 0 v: 3	

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
節電モード 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み取りで PSV	0	1	0	
電源 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み取りで PWR	0	1	0	
RW での赤のゲイン	書き込み / 読み取りで RCG	0	100	50	2
背面設置 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み取りで REA	0	1	0	
初期化 0: リセットなし 1: リセット	書き込み / 読み取りで RST	0	1	-1	
シャープネス 最もシャープよりシャープ 7 = 標準 8 = よりソフト 9 = 最もソフト	書き込み / 読み取りで SHP	126	130	128	1
入力 0: computer 1 1: computer 2 2: video 1 3: video 2 4: video 3 5: computer 3	書き込み / 読み取りで SRC	0	5	0	

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
スクリーンセーバー 0: 5 分 1: 10 分 2: 15 分 3: 20 分 4: 25 分 5: 30 分	書き込み / 読み取りで SSV	0	5	0	1
色温度 0: 9300K 1: 6500K 2: 7200K 3: ユーザー	書き込み / 読み取りで TMP	0	3	2	
色あい	書き込み / 読み取りで TNT	114	142	128	1
音量	書き込み / 読み取りで VOL	0	32	16	1
垂直位置	書き込み / 読み取りで VPS	0	デフォルト: 自動 × 2	自動	1
ビデオ入力 0: 自動 1: NTSC 2: PAL 3: SECAM	書き込み / 読み取りで VSU	0	3	0	

機能	コマンド	最小値	最大値	デフォルト	ステップ
IR レシーバー 前部 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで IRF	0	1	1	
IR レシーバー 背部 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで IRR	0	1	1	
IR レシーバー 上部 0: 無効 1: 有効	書き込み / 読み 取りで IRT	0	1	1	
PiP サイズ選択 0: オフ 1: 小 2: 中 3: 大	書き込み / 読み 取りで PSS	0	3	0	
PiP 入力 3: video 2 1: video 3	書き込み / 読み 取りで PIN	3	4	3	
PiP 位置 0: 左上 1: 右上 2: 左下 3: 右下 10: ユーザー	書き込み / 読み 取りで PPO	0	4	2	

IF YOU NEED ASSISTANCE...

call InFocus Customer Service directly at 1-800-799-9911.

SUPPORT IS FREE

between 6 a.m. and 6 p.m. PST,
Monday through Friday. Support is
available in North America after
hours and weekends for a fee at
1-888-592-6800.

Or, send us an e-mail at
techsupport@infocus.com.

IN EUROPE,

call InFocus Customer Service
directly at **(+31) 20 579 2820**.

Support is free between 8 a.m. and
6 p.m. CET, Monday through Friday.

Support is available in EMEA after
hours and weekends for a fee at
(+31) 20 579 2828.

Or, send us an e-mail at
emea.support@infocus.com.

IN ASIA,

call InFocus in Singapore
at **(65) 6334-9005**.

Many resources are available
on our website at **www.infocus.com**.
Here's a sample:

- product registration at
www.infocus.com/register
- product data sheet at
www.infocus.com
- view optional accessories at
www.infocus.com
- technical specifications, an
interactive image size calculator,
laptop activation commands,
connector pin outs, command line
interface (CLI) and a glossary at
www.infocus.com/service
- more information about
ProjectorNet software at
www.infocus.com/ProjectorNet

InFocus®

LP®840/LP®850 INSTALLATION & INTEGRATION PROJECTOR.

USER'S GUIDE



InFocus®

InFocus Corporation

27700B SW Parkway Avenue
Wilsonville, Oregon 97070-9215
1-800-294-6400 • 503-685-8888
Fax: 503-685-8887
<http://www.infocus.com>

In Europe:

InFocus International BV
Strawinskylaan 585
1077 XX Amsterdam
The Netherlands
Phone: +31 20 579 2000
Fax: +31 20 579 2999

In Asia:

238A Thomson Road
#18-01/04 Novena Square
Singapore 307684
Telephone: (65) 6334-9005
Fax: (65) 6333-4525



010-0512-01